



# 地方都市における ウォーカブルシティ

山口大学大学院創成科学研究科

宋 俊煥

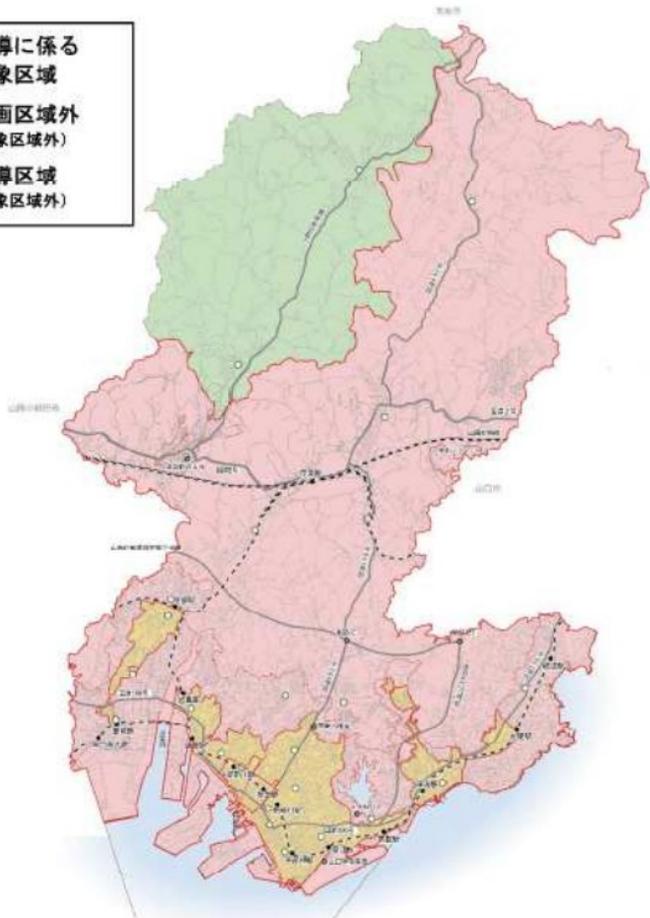
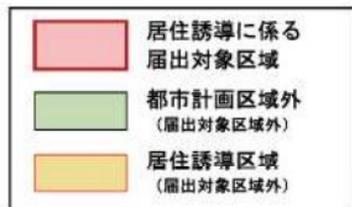
准教授

若者クリエイティブコンテナ宇部(YCCU) 代表  
まち会社・にぎわい宇部 取締役(非常勤)  
竹原市 都市デザインアドバイザー  
宇部市・山口市 ウォーカブル推進検討・デザインチーム  
新見市・いの町 エリアプラットフォーム 有識者メンバー

**なぜ、地方都市にウォークアブルが必要なのか？**

## 立地適正化計画(2014)

- ・全国686団体で取り組み実施中
- ・主な都市機能施設(医療・福祉・商業等)の誘導



そもそも魅力のあるまちなか(都市機能誘導区域)を計画・実施しない限り、人口誘導は難しい。

## 2040年消滅可能性都市



# 20分圏ネイバーフッド/Complete Neighborhood、ポートランド

住民が安全に日常生活に必要なサービスへアクセスできる徒歩圏域(1マイル圏)を20分圏とし、日常生活に必要な機能(商業、仕事、公園等)が揃い、これらの機能に近接した一定の密度を有する居住地

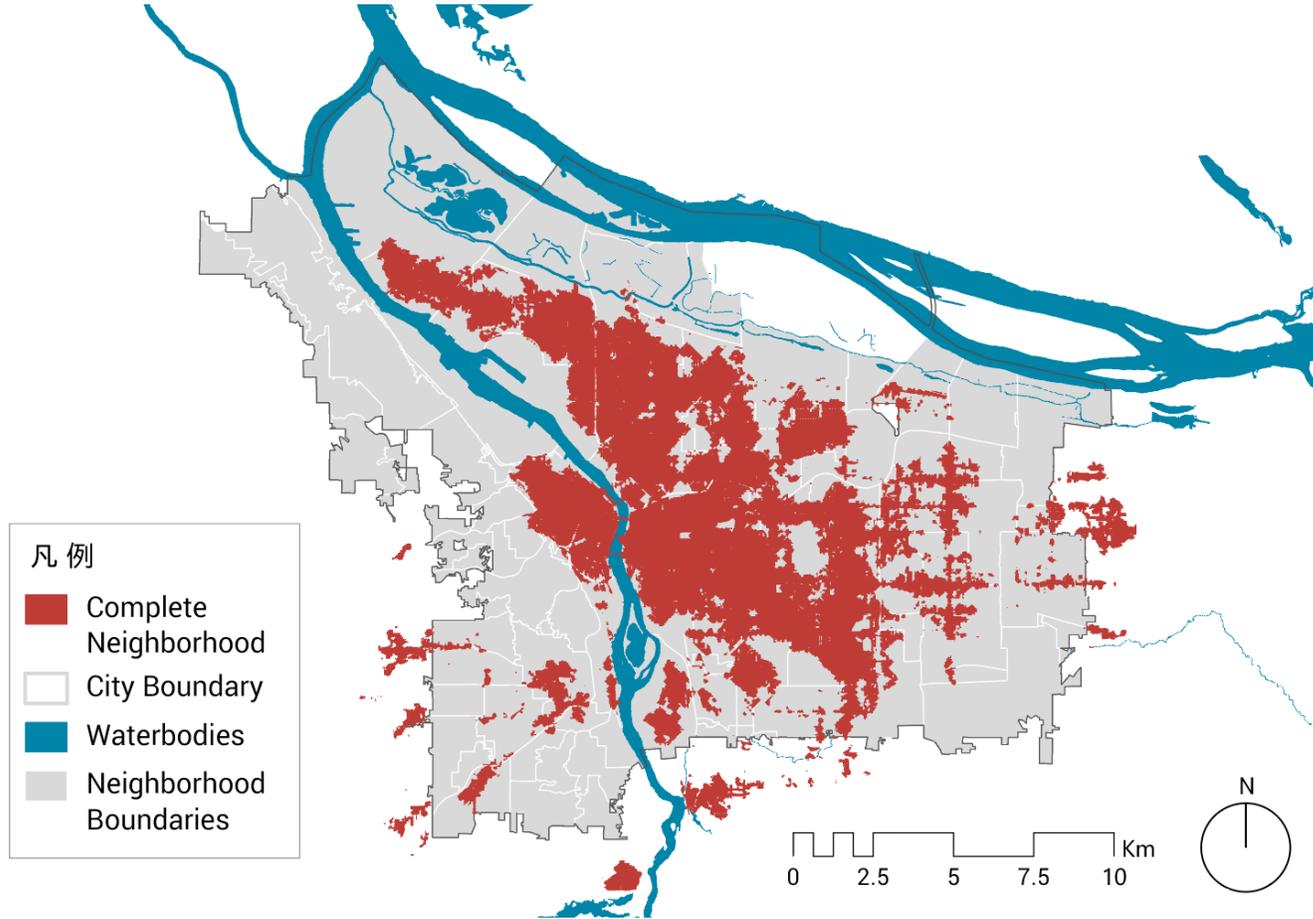
「コンプリート・ネイバーフッド」は、以下の7つの施設の内、少なくとも5つの施設に対して近接性(20分圏域=1マイル)を有し、70点以上の“Walk Score”※を示す地区。

※Walk Scoreとは店舗や公園、学校、その他の目的施設へ徒歩でアクセス性について1/4マイル毎に加重して1から100の得点を与えて評価する指標である。  
(www.walkscore.com)

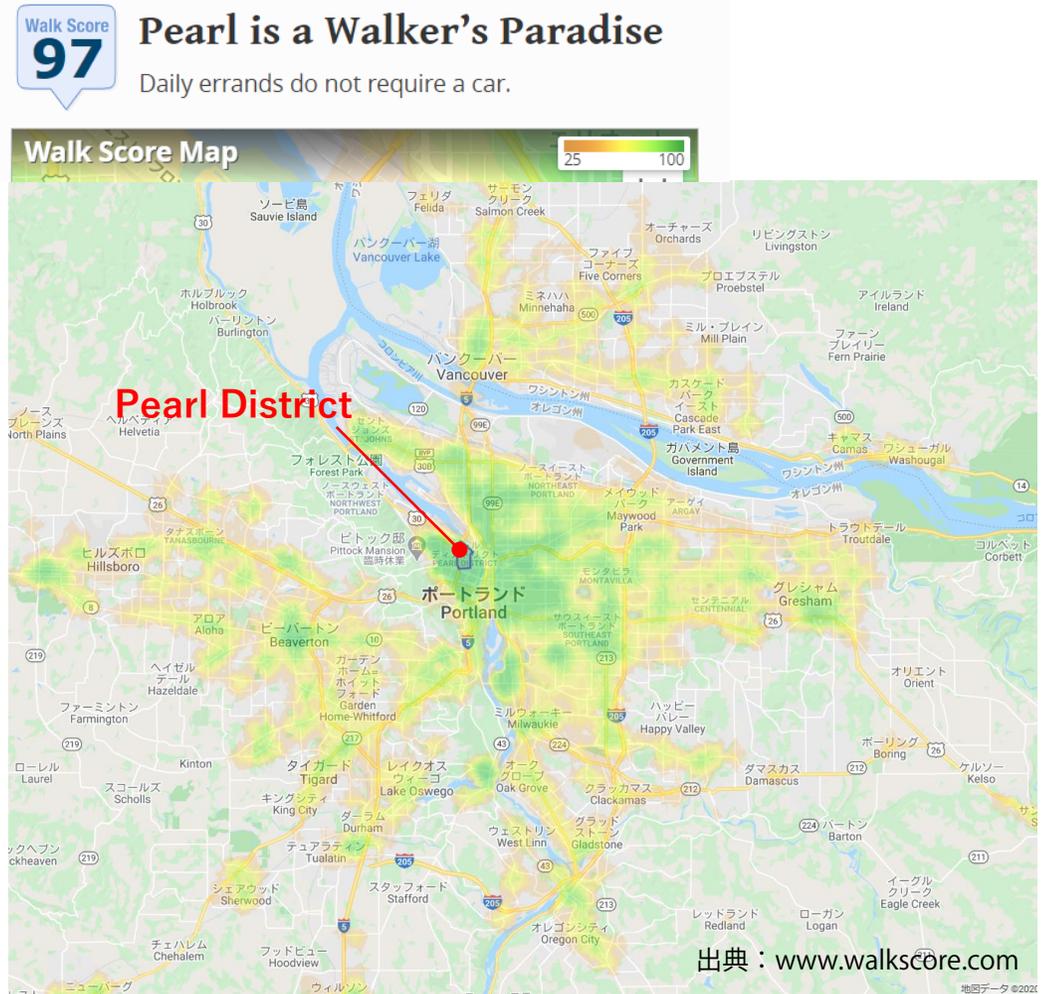
90-100 日常生活で車が不要  
70-89 ほとんどの生活行為が徒歩可能  
50-69 徒歩圏内にいくつかの施設が立地  
25-49 車依存 - 徒歩圏内にいくつかの施設  
0-24 車依存 - 常に車が必要

7項目の評価指標	①自転車通路	②歩道	③公共交通機関
			
④食料品店	⑤公園や自然地域	⑥小学校	⑦商業サービス施設
			
	新鮮な食材を提供する食料品店	レクリエーション機能	公立小学校へのアクセス
			日常生活に必要な商業施設

# 得点率が70%以上を満たす地域を増やす ：「コンプリートネイバーフッド(CN)」



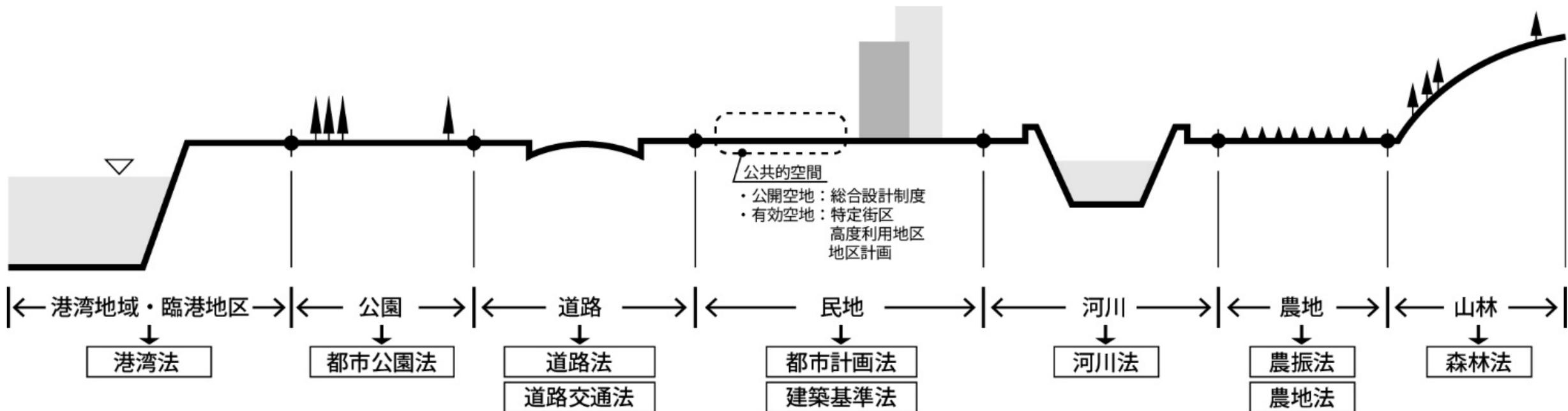
出典：杉原 礼子, 鶴 心治, 坪井 志朗, 小林 剛士, 宋 俊煥, 趙 世晨(2018), 「ポートランド市の計画方針を組み込んだコンパクトシティ計画策定支援システムの提案」, 日本建築学会計画系論文集, 2018年 83 巻 749 号 pp. 1251-1261



# 公共空間(パブリックスペース)の重要性

- ①行政の管轄(Governance Space)：所有と管理の観点
- ②自由空間(Public Space)：個人所有ではなくだれでも利用可能な空間・集会
- ③都市基盤(Infrastructure)：都市機能を支持する役割

➡ 公共空間の「量的」拡張時代から「質的」向上時代へ  
➡ 私的空間の公的空間化(Open Space)：公開空地 / 空地等 ➡ 官民連携・協働 (PPP)の重要性



# ウォーカビリティの10のステップ



## 利便性の高い歩行

- Step1** 車を適切に迎え入れよう
- Step2** 用途を混在させよう
- Step3** 駐車場を正しく確保しよう
- Step4** 公共交通を機能させよう

## 安全な歩行

- Step5** 歩行者を守ろう
- Step6** 自転車を歓迎しよう

## 快適な歩行

- Step7** 空間を形作ろう
- Step8** 樹木を植えよう

## 楽しい歩行

- Step9** 親しみやすくユニークな表情を作ろう
- Step10** 優先順位をつけよう

## 【地方Step 1】 道路幅・沿道建築との関係づけ

- 1.沿道低層部が機能していない場合
- 2.沿道低層部が機能している場合

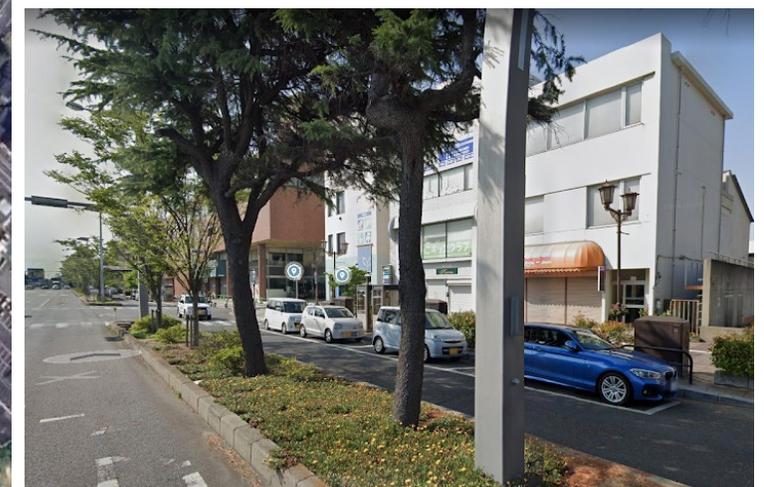
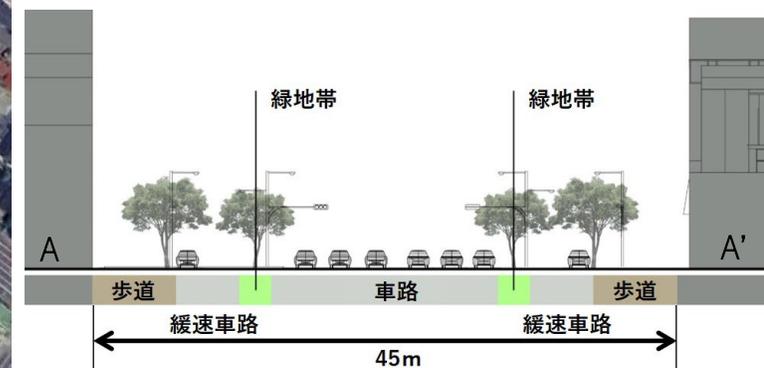
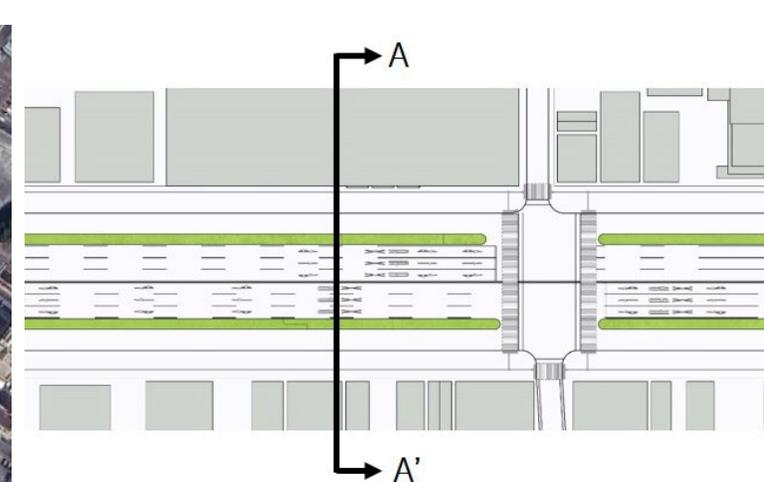
Step1 車を適切に迎え入れよう

Step2 用途を混在させよう

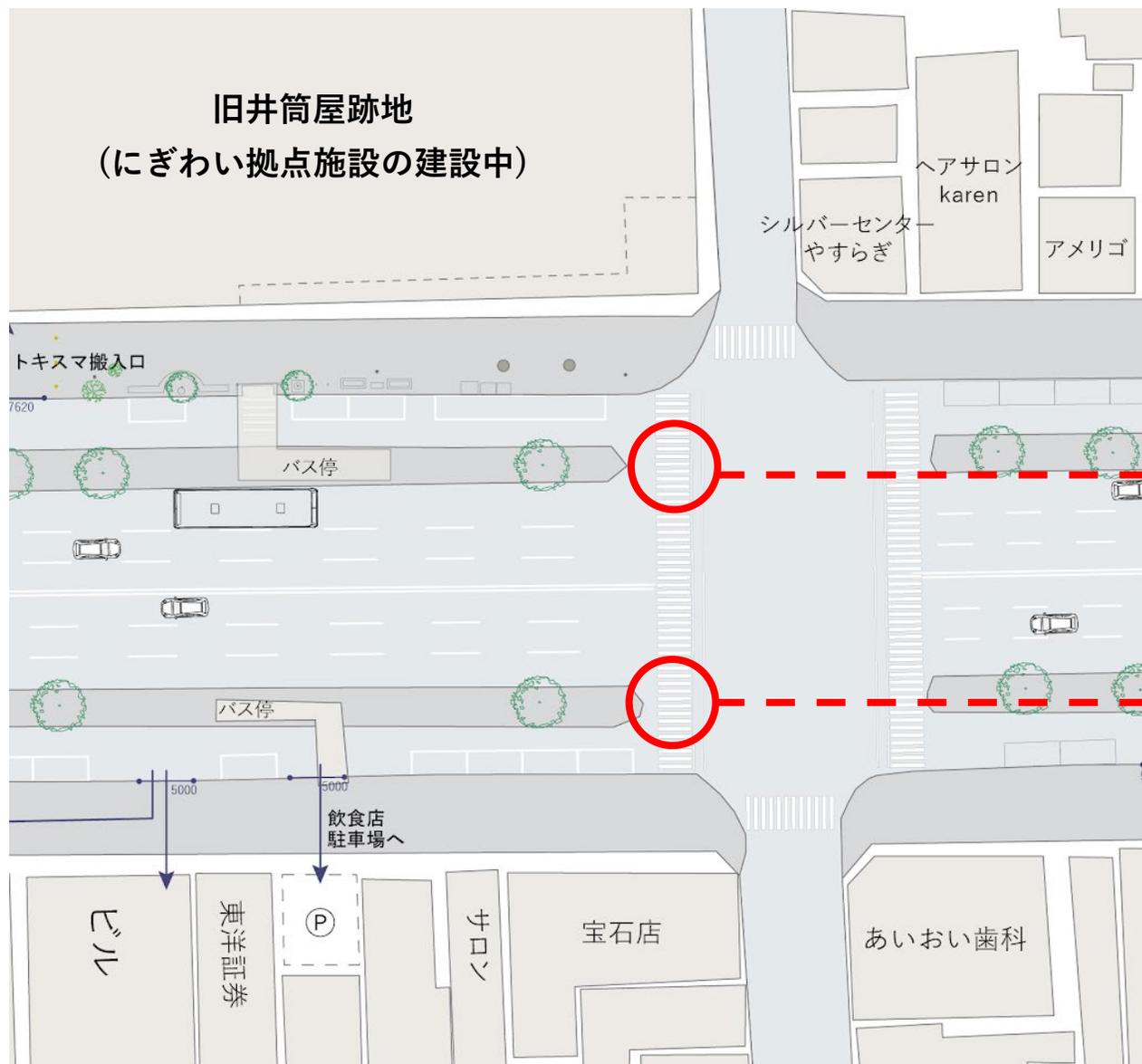
Step5 歩行者を守ろう



# 常盤通り

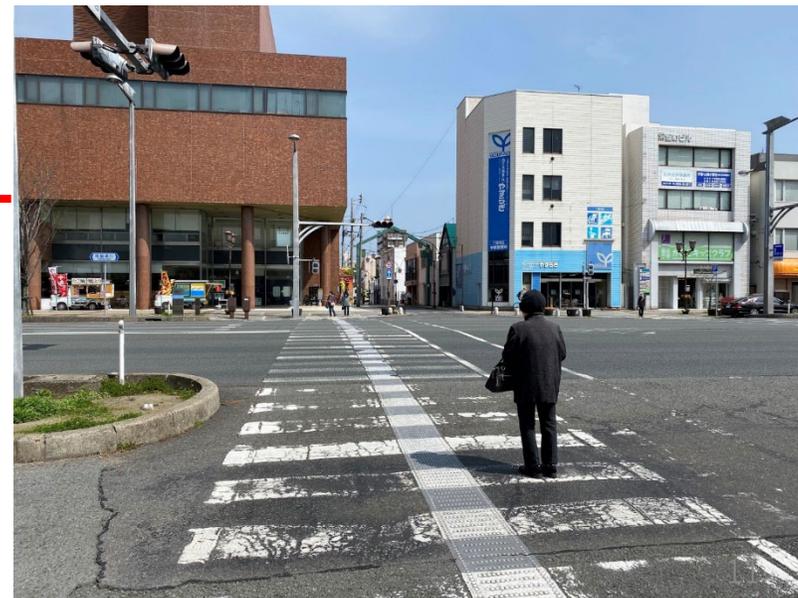


# 【観察調査1】横断歩道（幅約40m）における高齢者の行動



- ・ 常盤通り周辺の高齢化率50%前後  
（中心市街地全体34%）
- ・ 分離帯まで行って、青信号になるのを待つ高齢者が多く見られる。

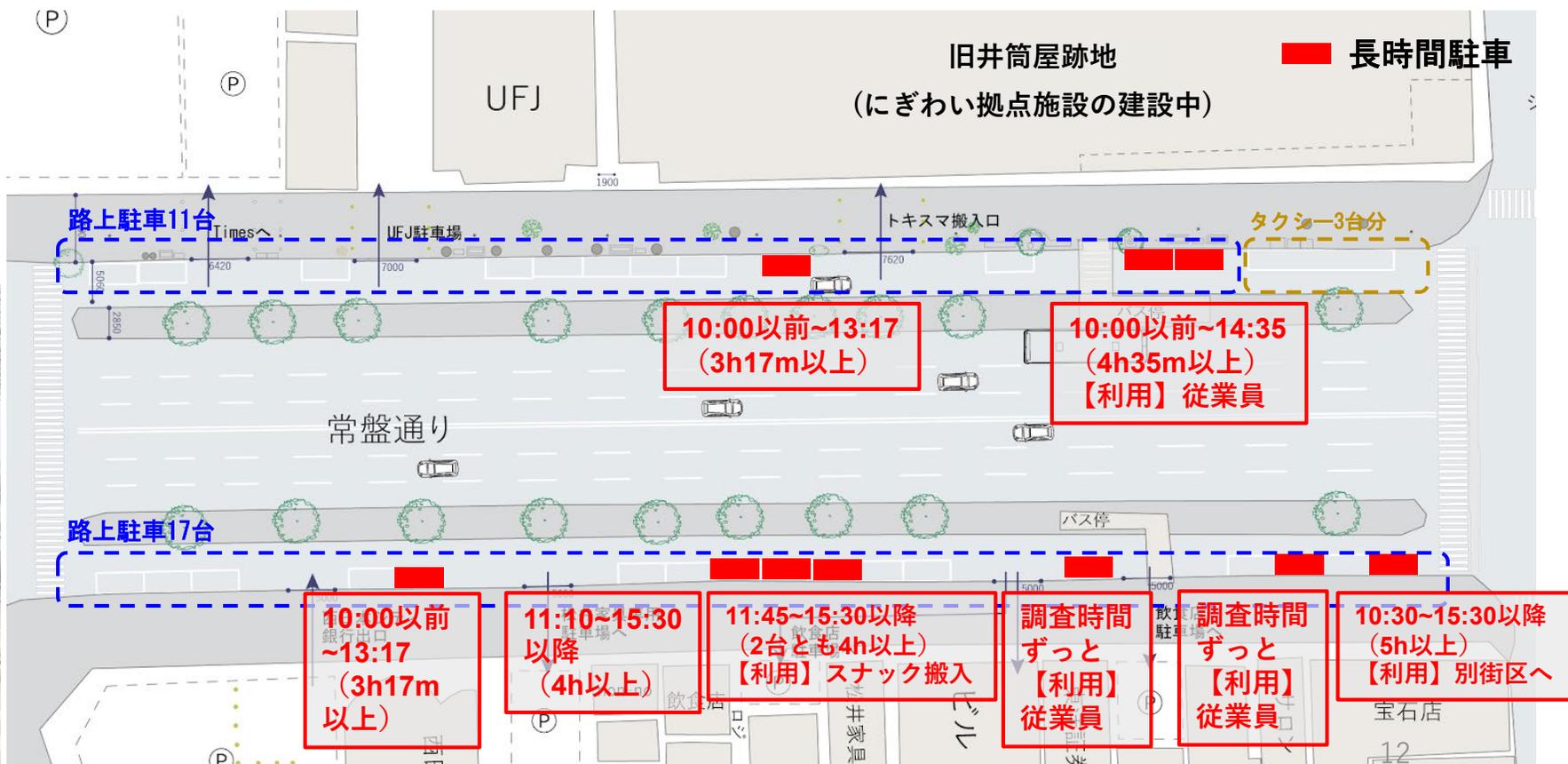
→ 限られた青信号の時間で渡る距離を短くするため（時間的余裕を持つため）  
→ 赤信号の時に分離帯まで行くのが危険



# 【観察調査2】副道の路上駐車の利用状況

<1>平日 3/19 (金) 10:00-15:30 実施  
<2>週末 3/20 (土) 10:00-17:00 実施

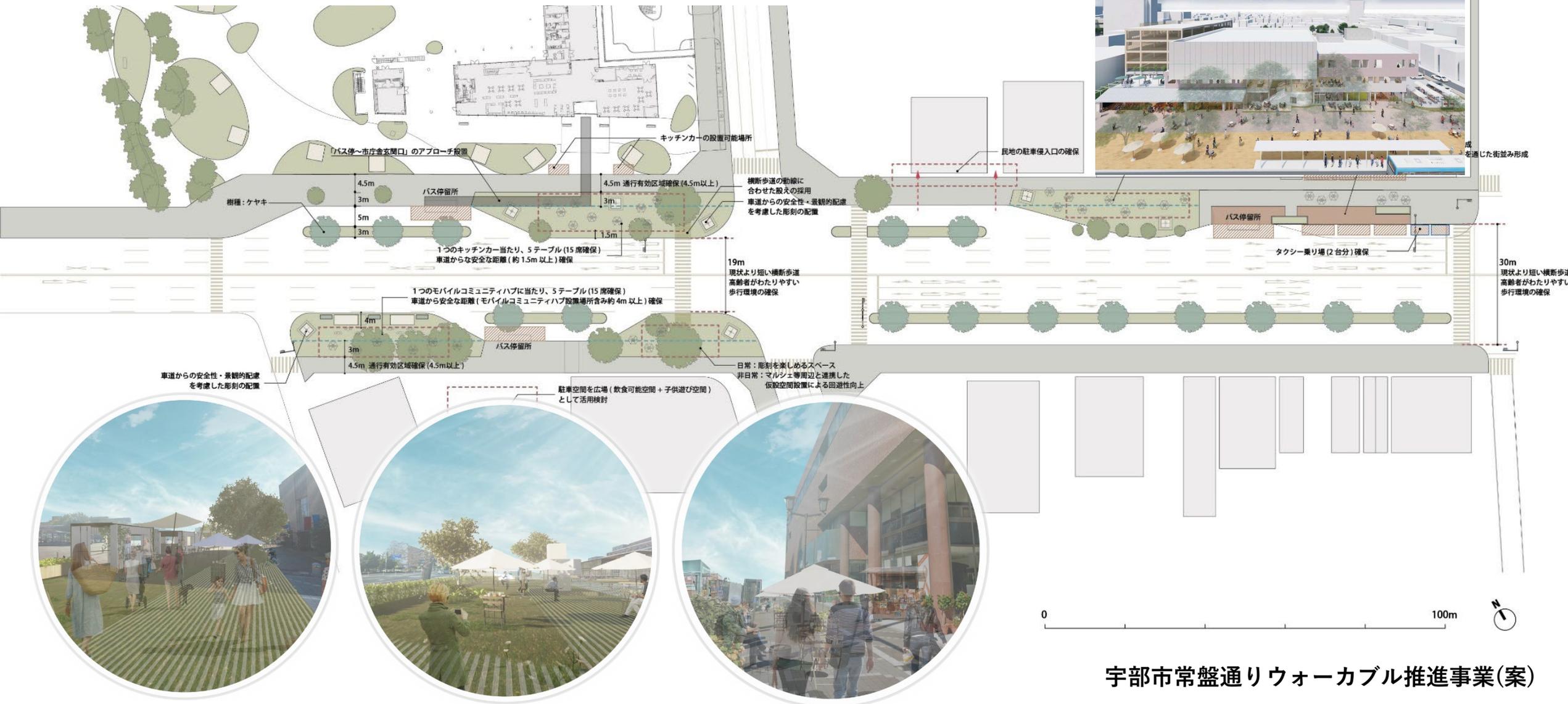
- 28台駐車スペース中、**10台 (35%)** が**4時間以上(週末は3台6時間以上)** 駐車されている。
- 平日には、周辺の従業員の車が多く占領していることがわかる。  
⇒**宇部市民 (利用者) のために機能していない。**
- **週末は、平日と比べ長時間駐車は少なくなっている。⇒従業員の利用減少**



# 「可変性」を持ち続ける公共空間の提供

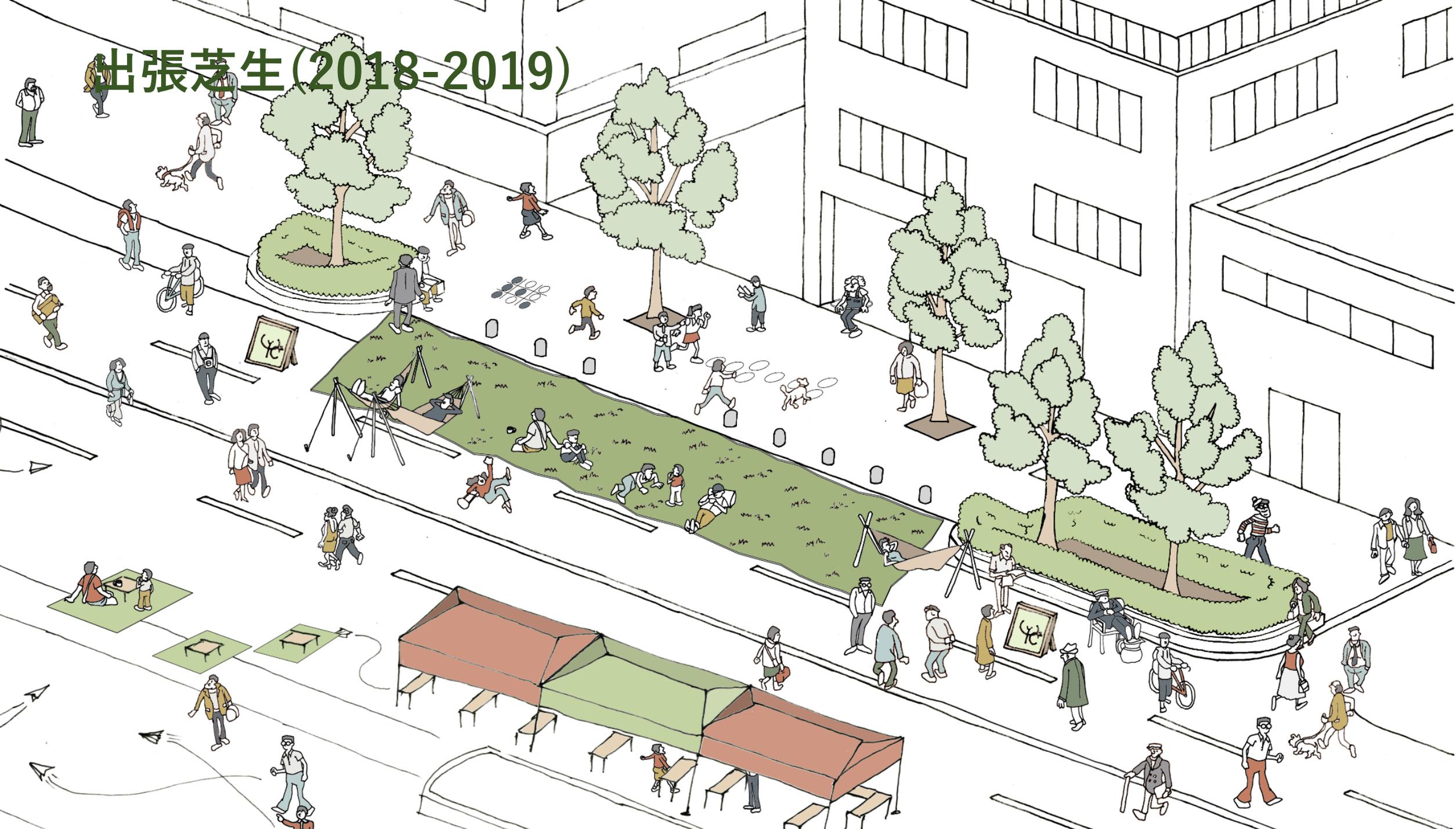
⇒ 様々な機能やアクティビティ「用途・遊具・規模等の変化」に対応・  
変化できる受け皿としての役割

にぎわい拠点施設イメージ



宇部市常盤通りウォークブル推進事業(案)

# 出張芝生(2018-2019)



# 第1回歩行者天国(2018.4)



# 歩行者天国(2018~2019、年2回実施)



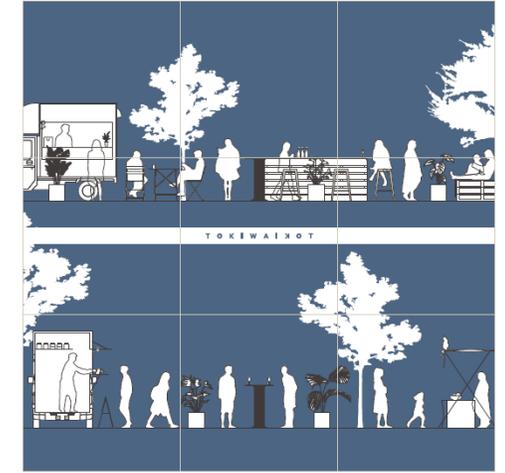
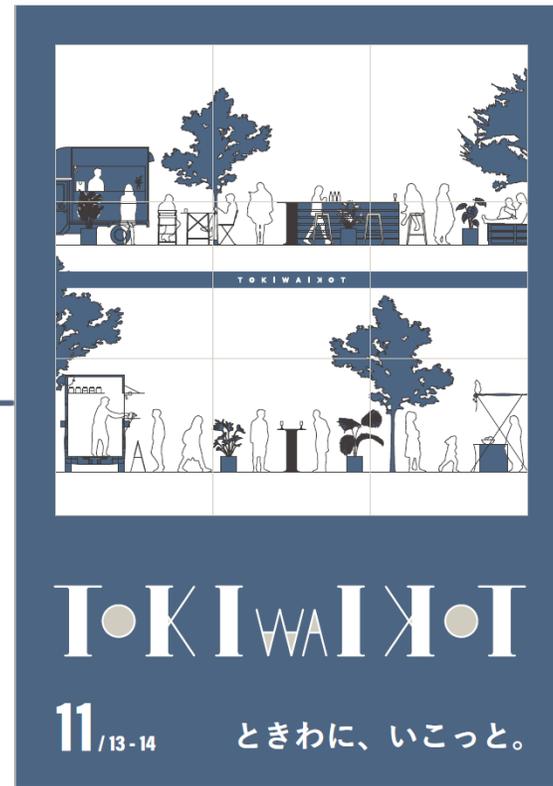
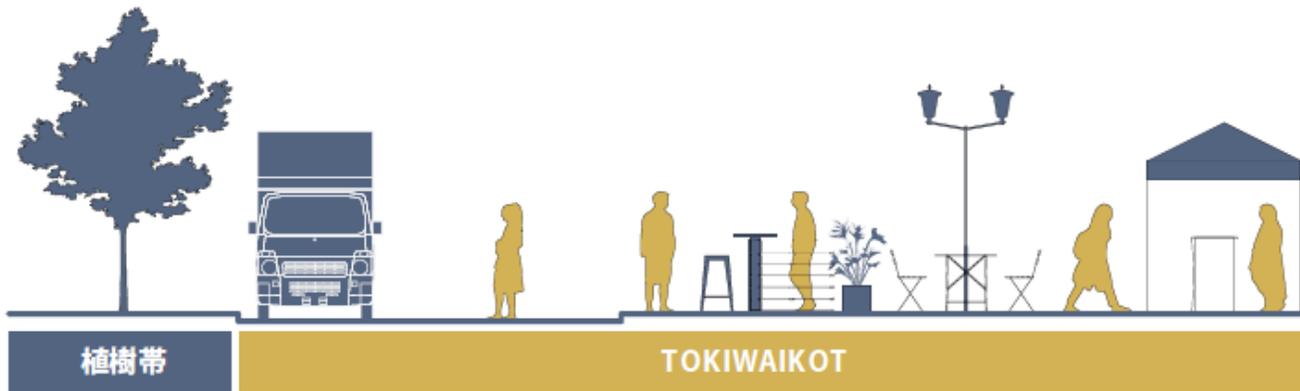
宇部ストリート社会実験「出張芝生」



# Street Furniture

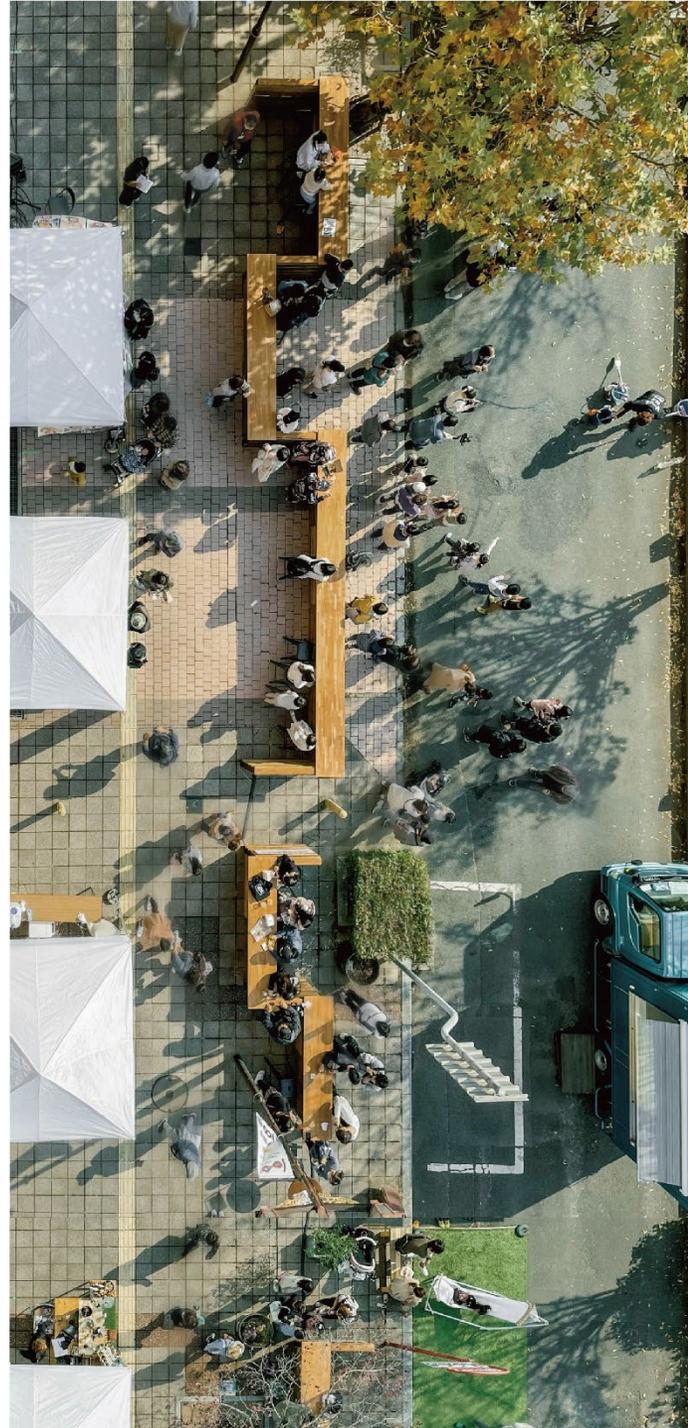
立ち飲みバーカウンター：副道と歩道の間設置

くつろぎベンチ：副道に並ぶキッチンカーとの間に設置



古くなったパレットを再利用  
塗装、照明器具をパレット内に入れるための加工

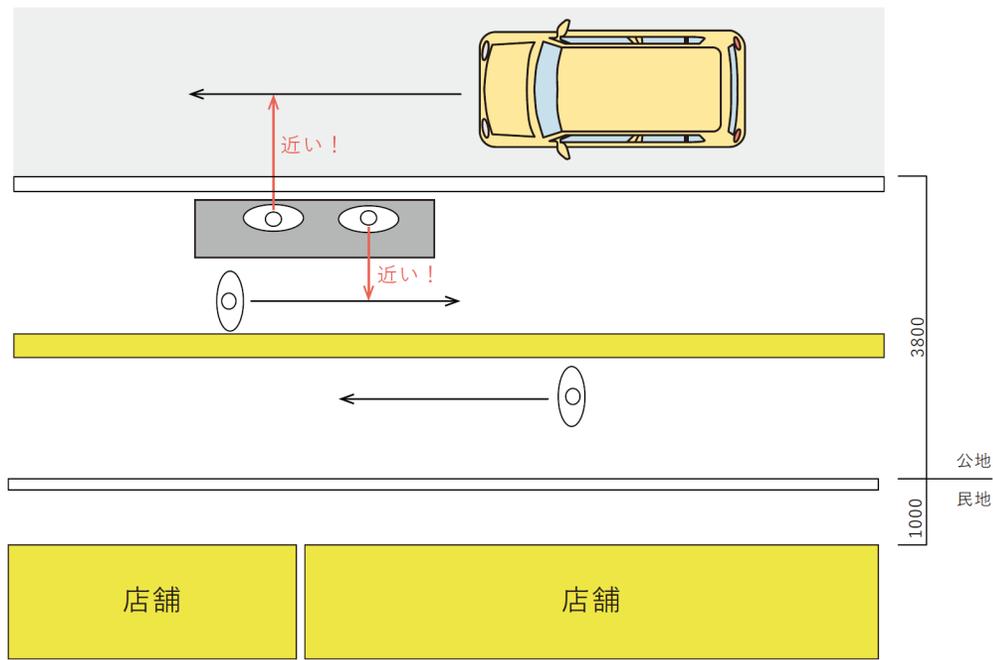




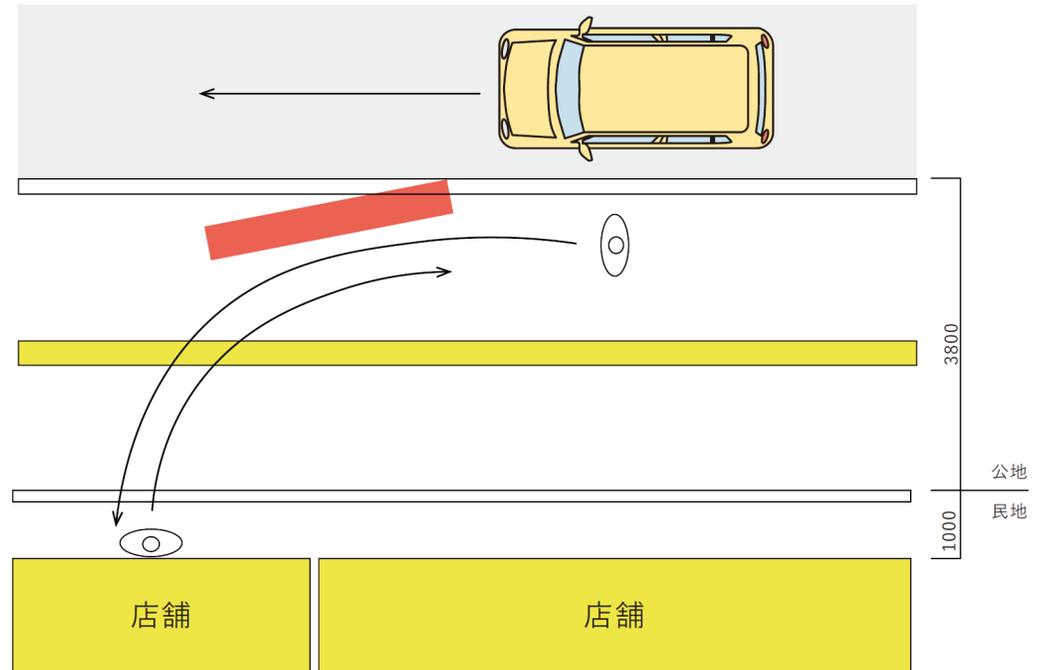
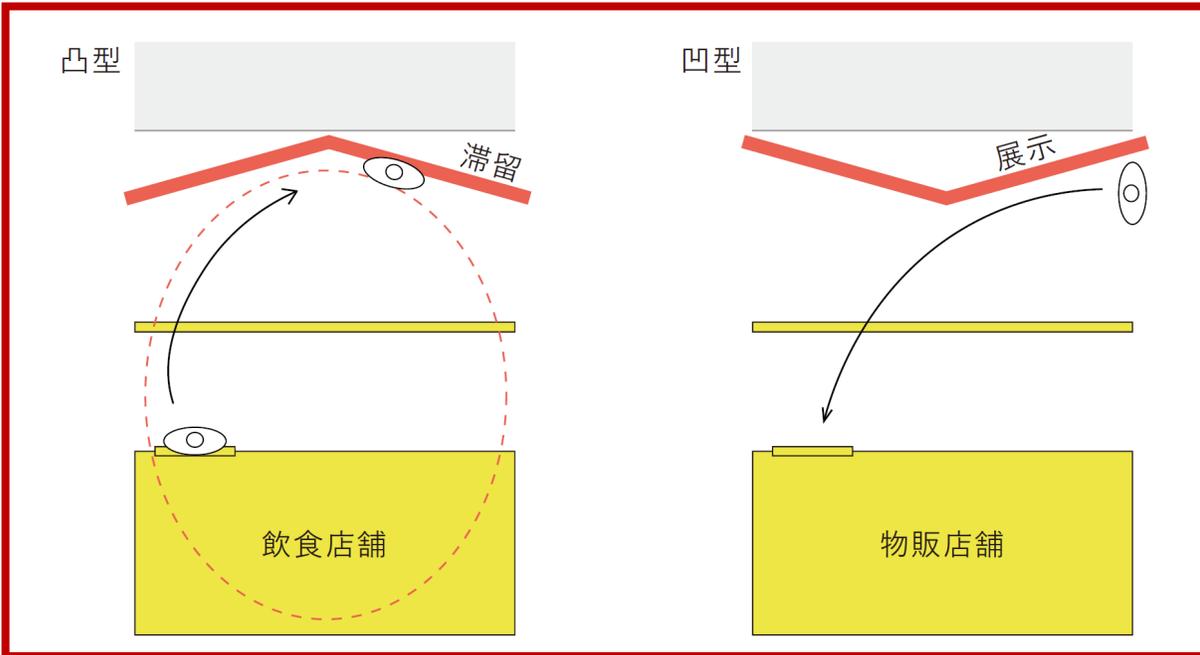
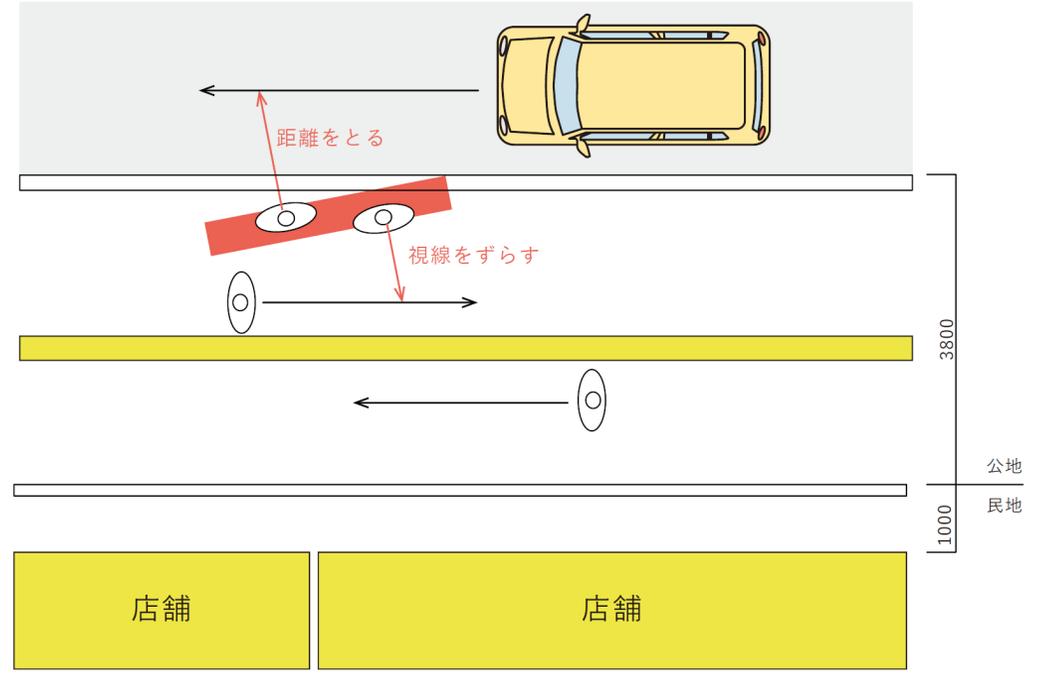
山口市駅前通り



現在



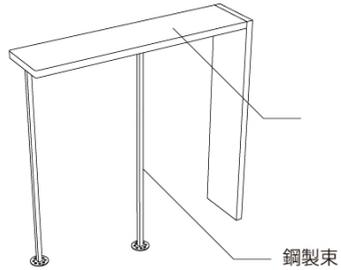
提案



# ストリートファニチャーのプロトタイプ化

type A

type A-1 (240×1024×h)



type A-2 (240×2024×h)

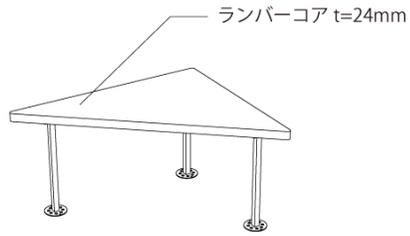


type A-3 (240×2324×h)

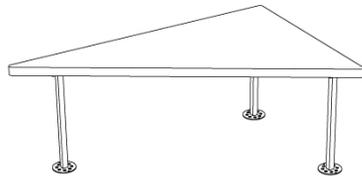


type B

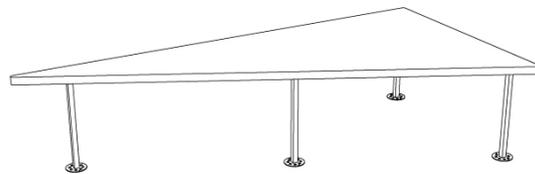
type B-1 (630×750×h)



type B-2 (630×1000×h)

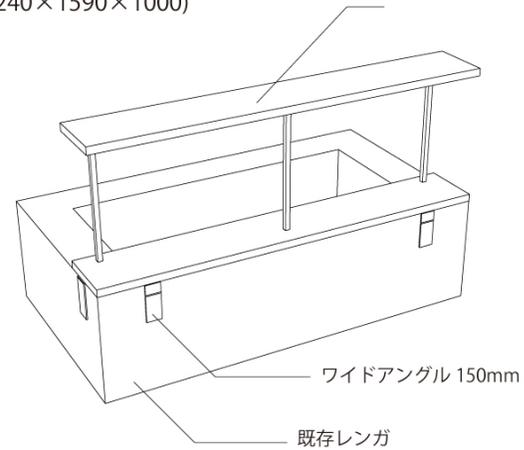


type B-3 (880×1800×h)

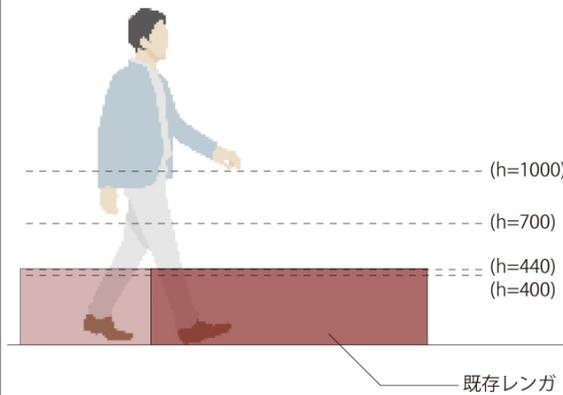


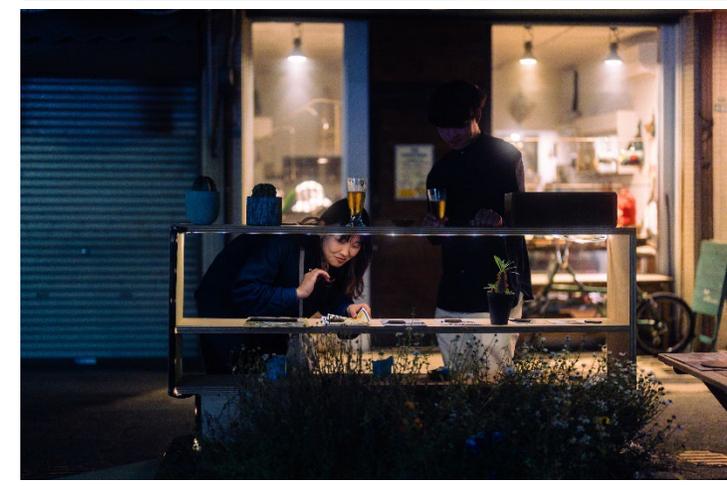
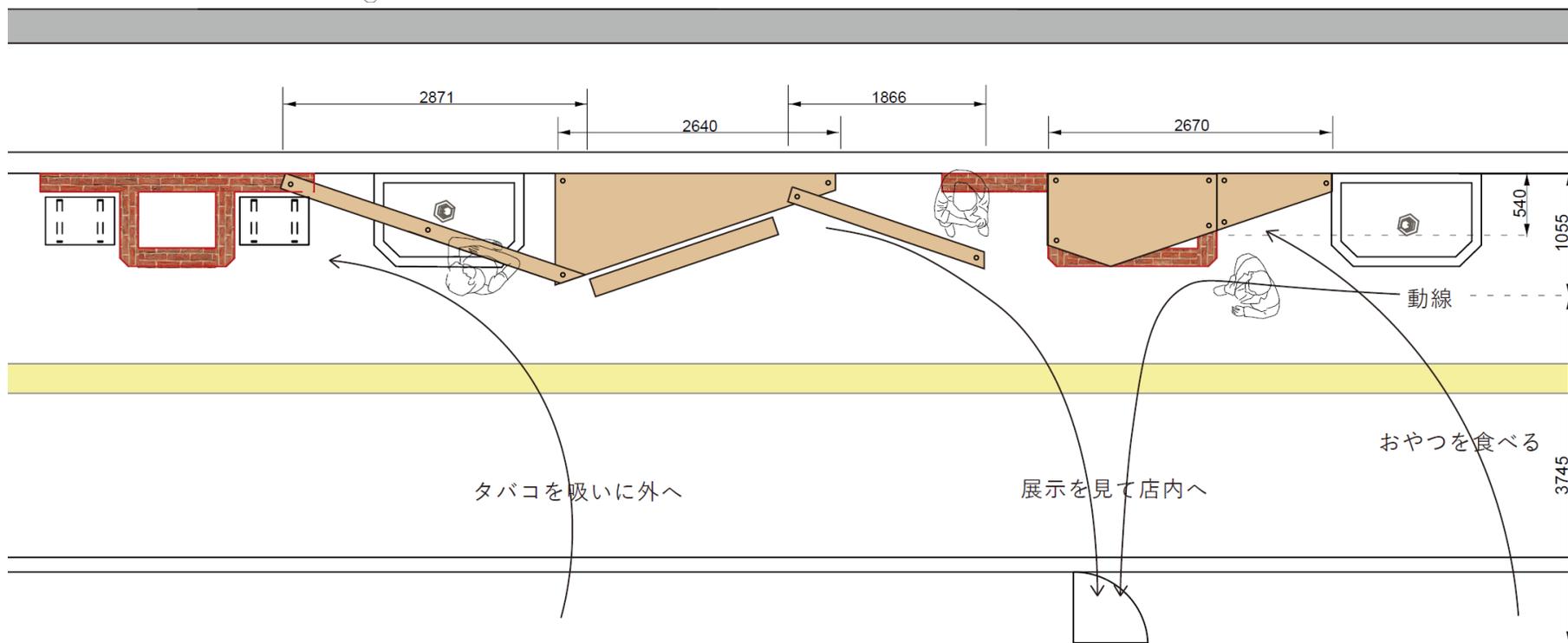
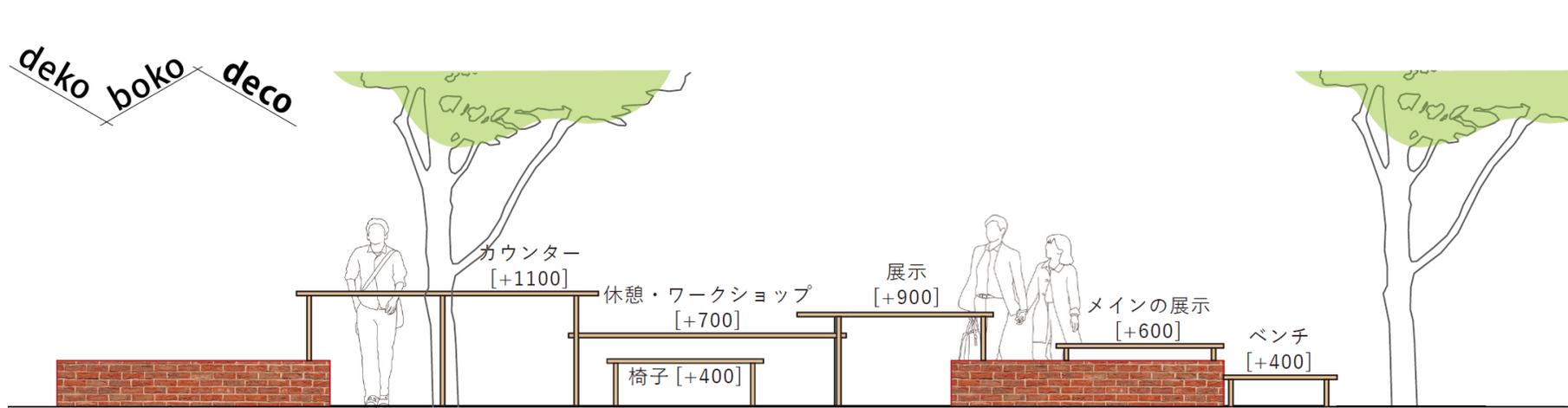
type C

(240×1590×1000)



高さ関係 (h)





# 商店街の説明会と参加店舗募集





和食屋

TEL 22-0129

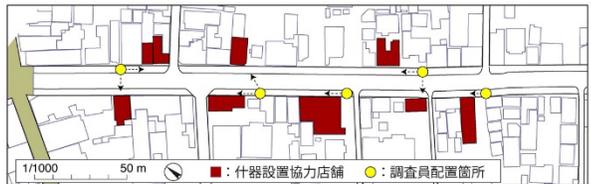
KO SILVER

Two people sitting at a table, one wearing a blue dress and a hat, the other wearing a white shirt and a hat.

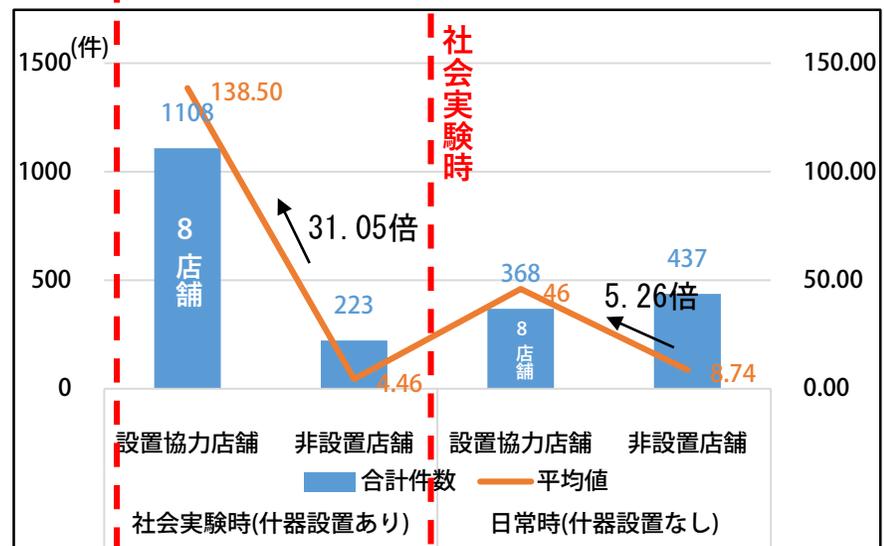
# アクティビティ調査

調査日	実・平 5月20日	実・休 5月21日	非・平 7月21日	非・休 7月23日
調査時間帯	7:30~21:00			
調査手法	調査員による観察調査			
調査項目	基本属性	①人数構成 ②性別 ③属性 ④グループの関係性		
	アクティビティ	⑤滞在時間 ⑥アクティビティの種類(17種) (座る/スマホ操作/持参飲食/店舗飲食/読む/居眠り/会話/写真撮影/電話/待つ/遊ぶ/喫煙/仕事/眺める/立ち止まる/自転車を置く/その他)		

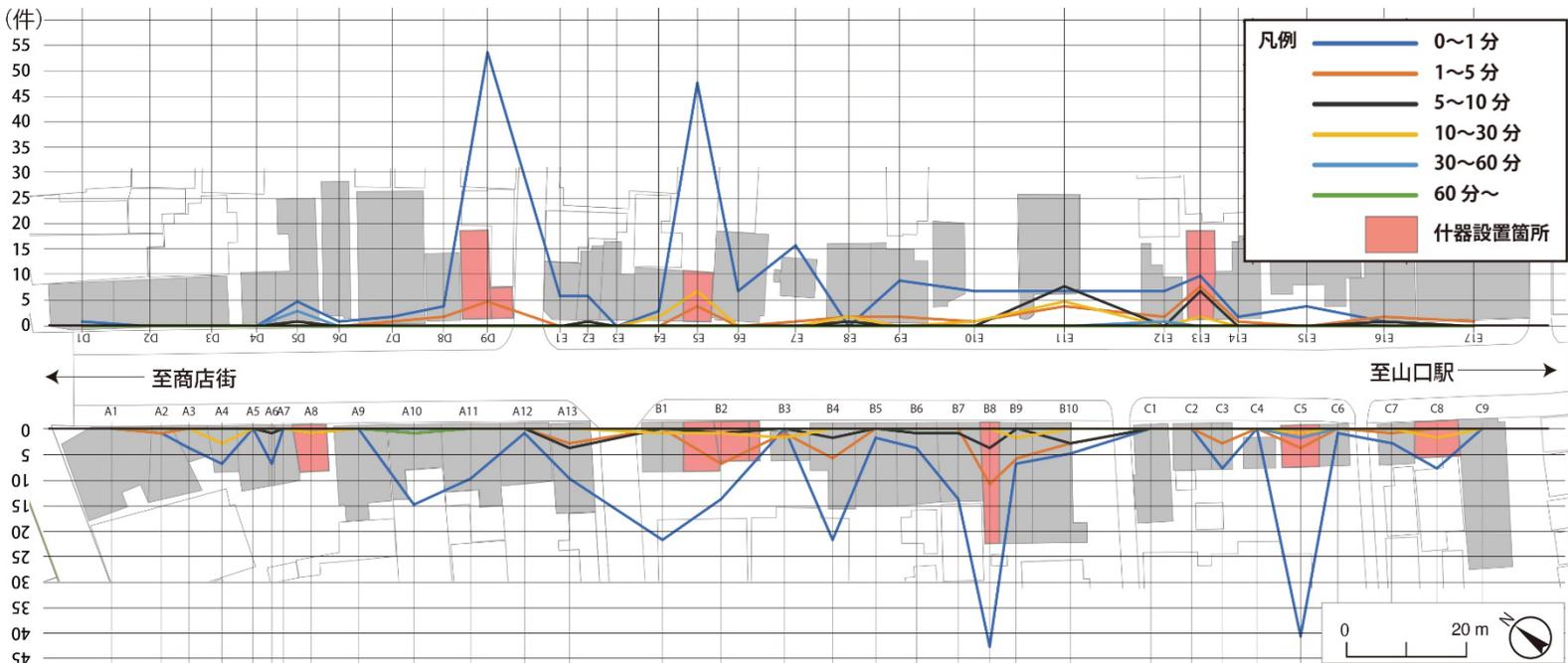
※ 実：実験時 非：非実験時 平：平日 休：休日



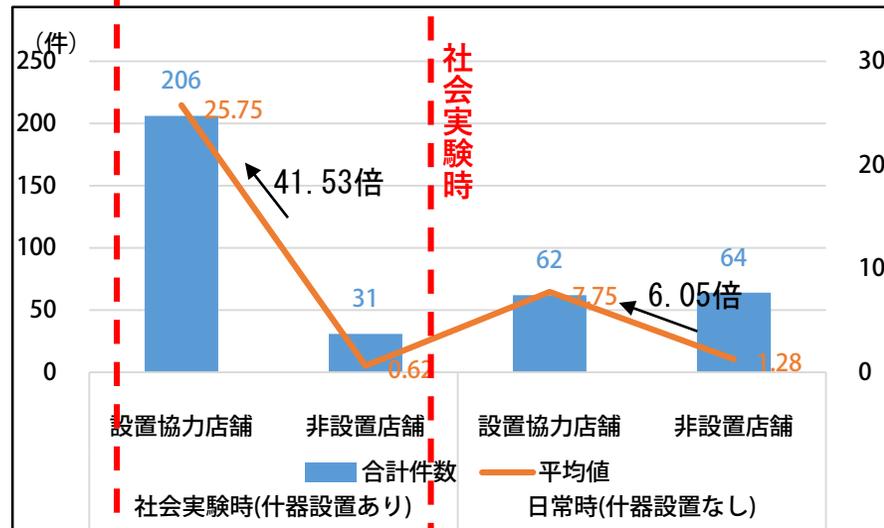
## 滞在時間



## 立地×滞在時間



## アクティビティ数



## 【地方Step2】 プレイヤーと共に考える体制づくりと実験

Step7

空間を形作ろう

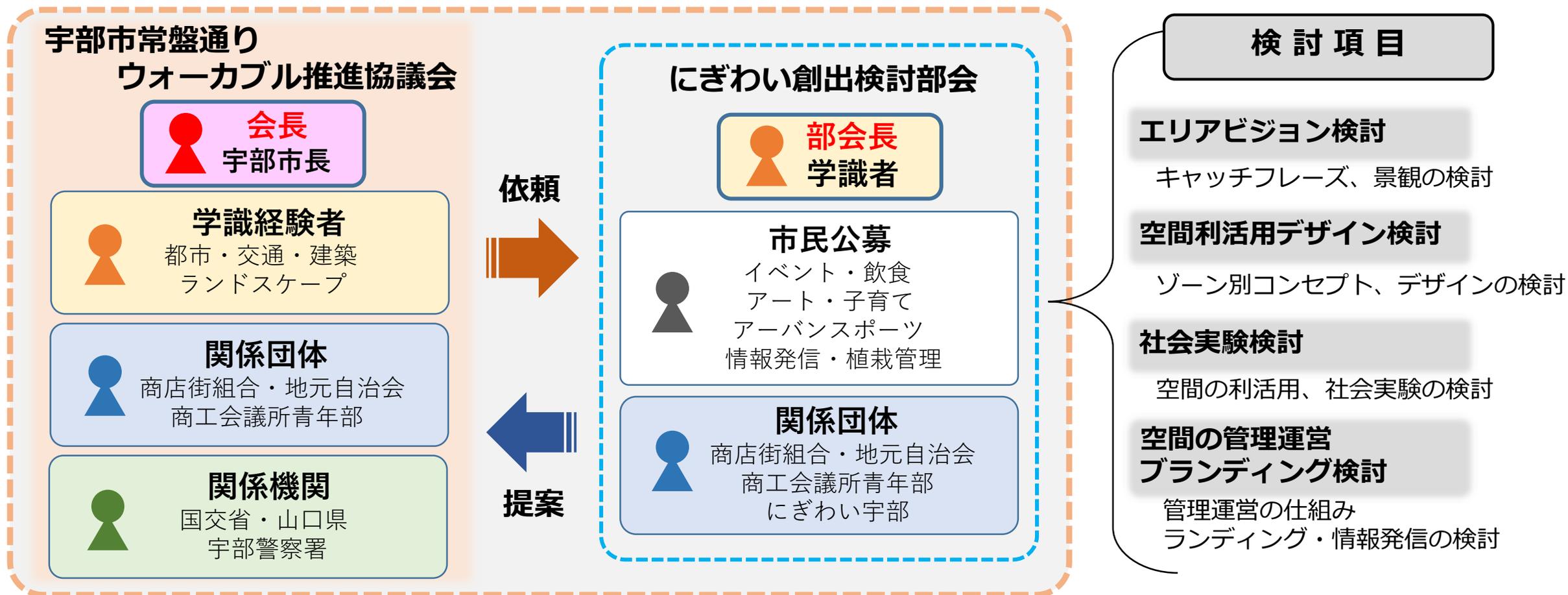
Step9

親しみやすくユニークな  
表情を作ろう

Step10

優先順位をつけよう

# 宇部市常盤通りウォーカブル推進 体制図







協議会

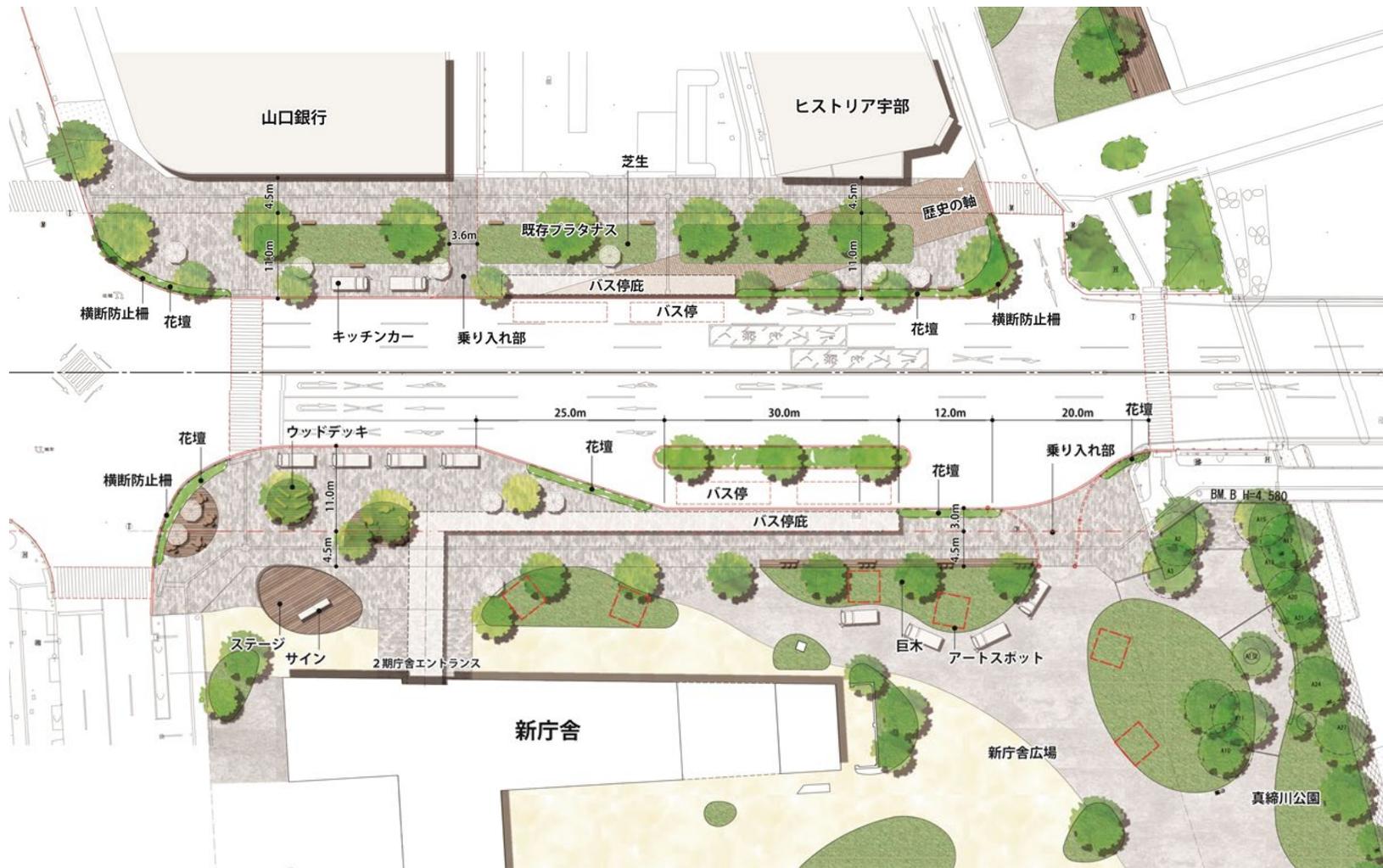


検討部会



# 常盤通り空間デザイン検討結果(案)

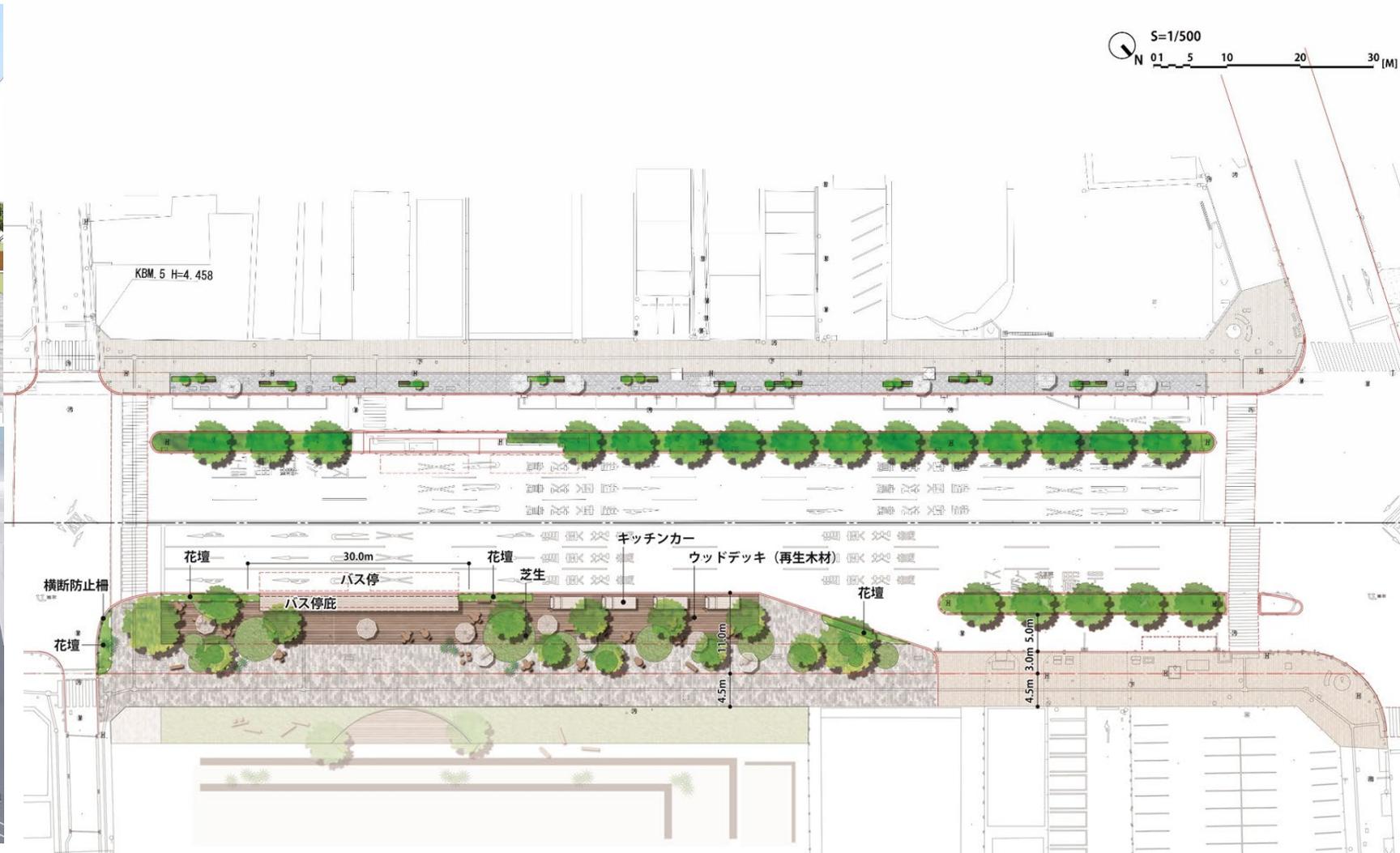
## ①ヒストリア宇部前 宇部の歴史や文化を感じられる空間



## ②新市庁舎前(第2期) 市役所の利用者や周辺のビジネスマンがくつろげる空間

# 常盤通り空間デザイン検討結果(案)

## ③旧井筒屋前(にぎわい拠点施設) 常盤通りの中心となる多世代交流空間



# 常盤通り空間デザイン検討結果(案)

## ④キッズラップ前・中津瀬神社前

子ども達が自由な発想で遊べる空間

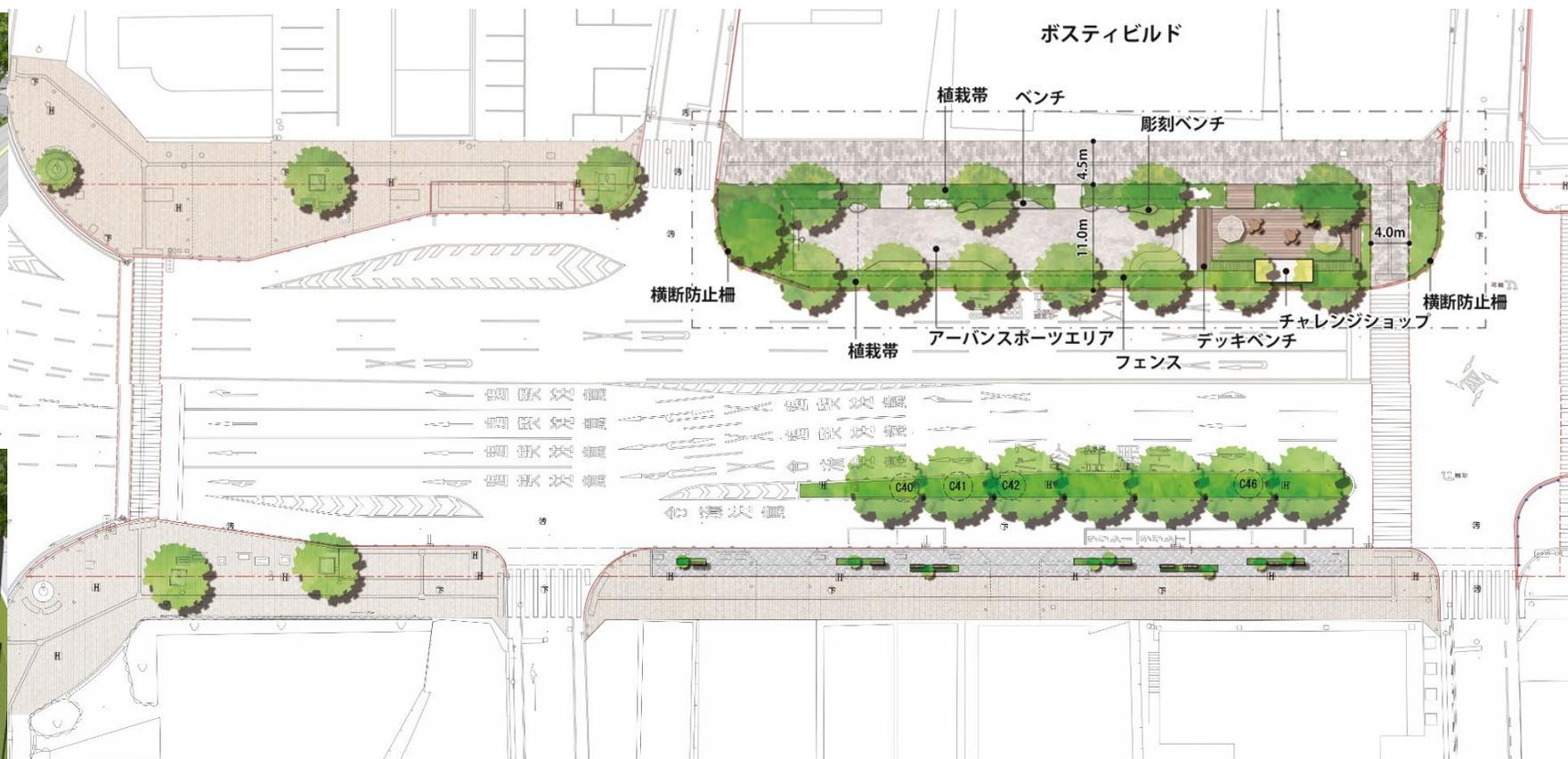


## ⑤西京銀行建設地前

大人のアスレチック空間

# 常盤通り空間デザイン検討結果(案)

## ⑥ボスティビルド前 若者が集う森のような空間



# 2022年社会実験

Kick off event  
**11/12 Sat. 13 Sun.**

11/14 Mon. - 12/11 Sun.

ときわいこっと。

## ときわいこっと。

飲食・雑貨出店者募集!

イベント終了後の11月14日(月)・12月11日(日)までの期間、ウエイカブならまちづくりへの社会実験として、引き続き「ときわいこっと」出店者募集をいたします。W E B サイトをご覧ください。

0836-39-6997

11/12 Sat. 15:00 - 21:00  
13 Sun. 10:00 - 15:00

**EVENTS**

みんなの笑顔溢るを盛りたくなる空間に、多岐種で楽しめるイベント開催!

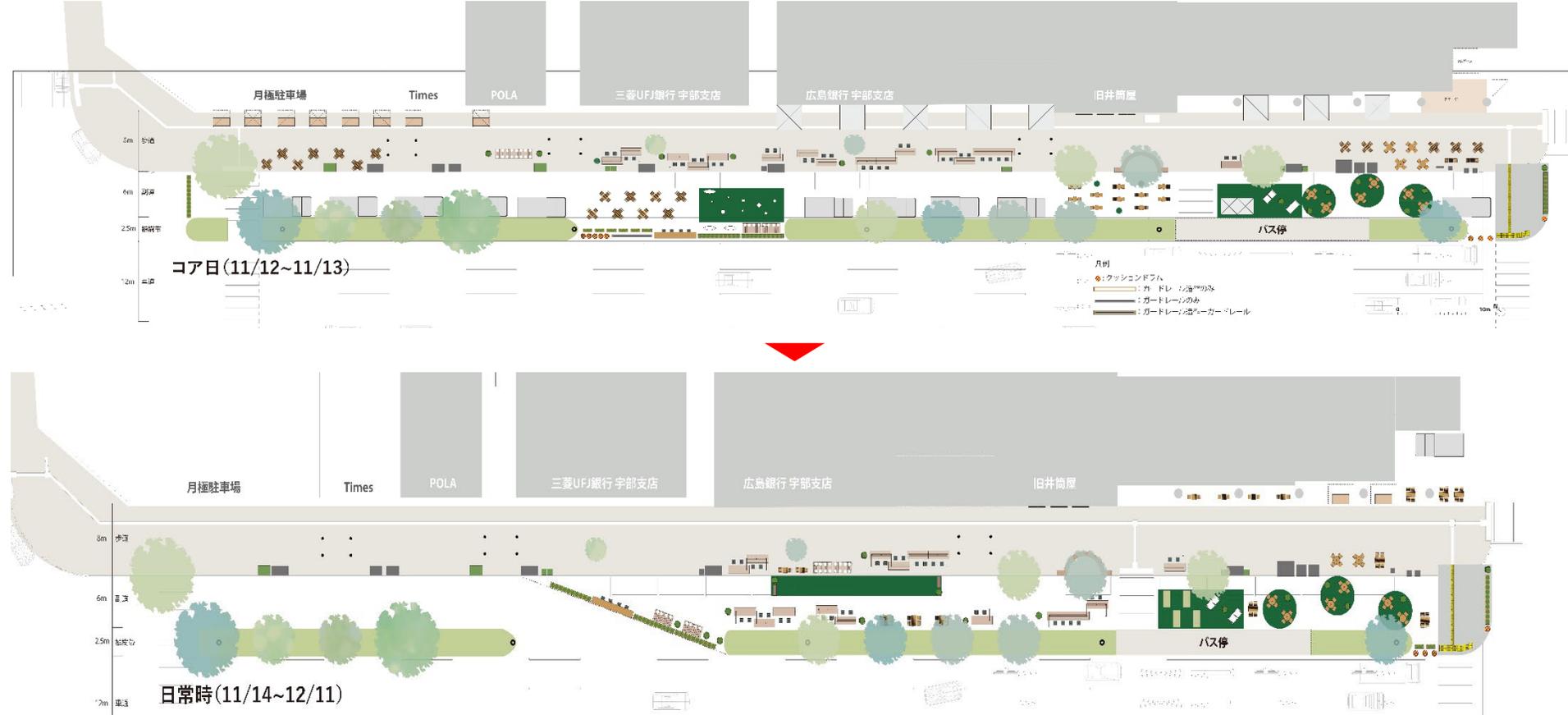
キッズコーナー・飲食・雑貨出店    ワークショップ・アーバンスポーツ    ストリートパフォーマンス等々

出店情報など最新更新! ときわいこっと

WEBサイト Instagram

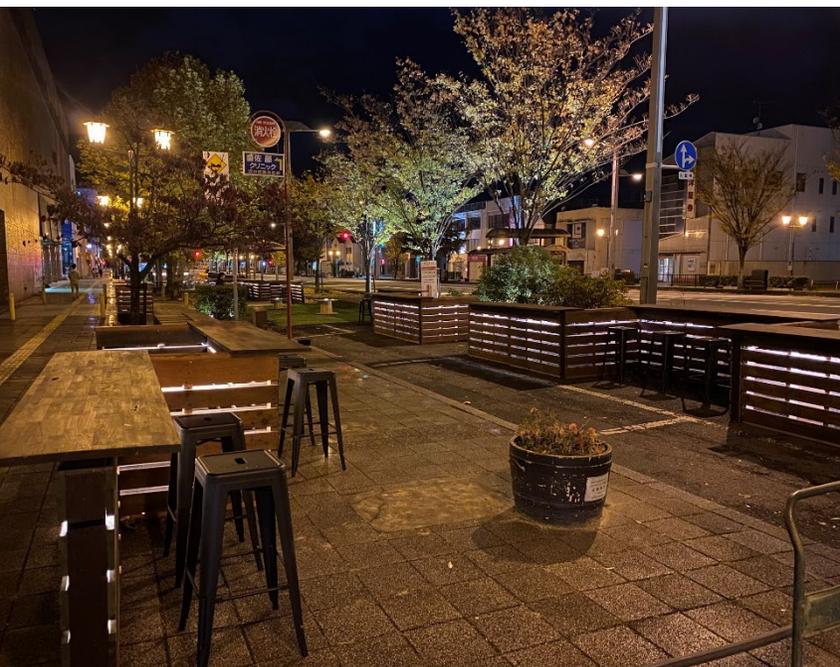
※詳細はウエイカブ事務局(0836-39-6997)までお問い合わせください。ウエイカブ事務局(0836-39-6997)にてお問い合わせください。ウエイカブ事務局(0836-39-6997)にてお問い合わせください。

## ③旧井筒屋跡地前



## ⑥ボスティビルド前

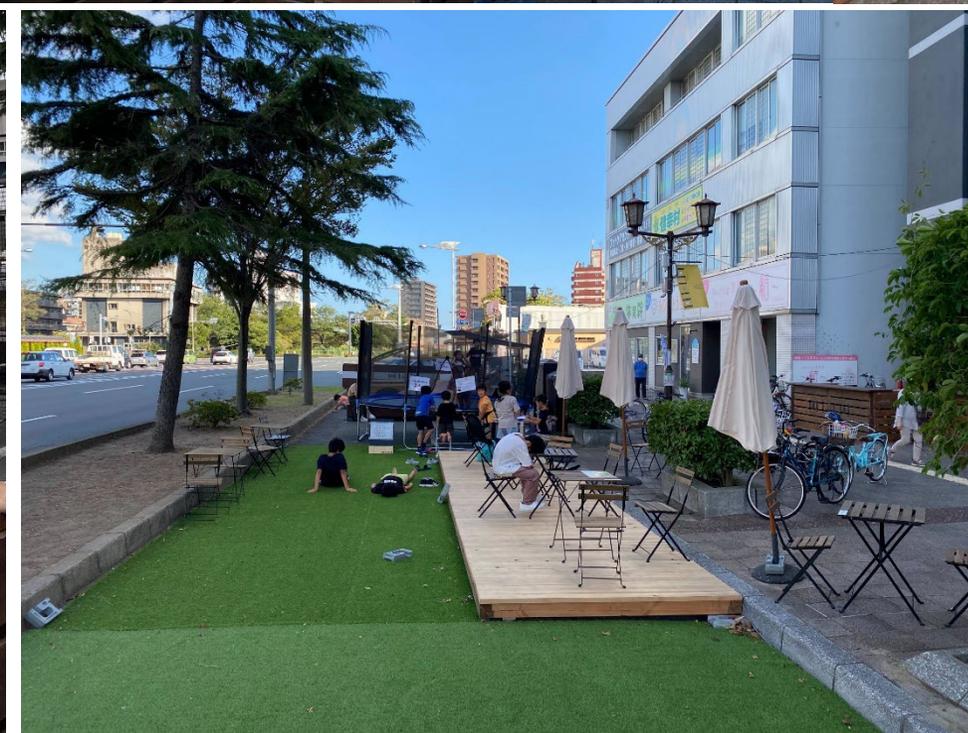


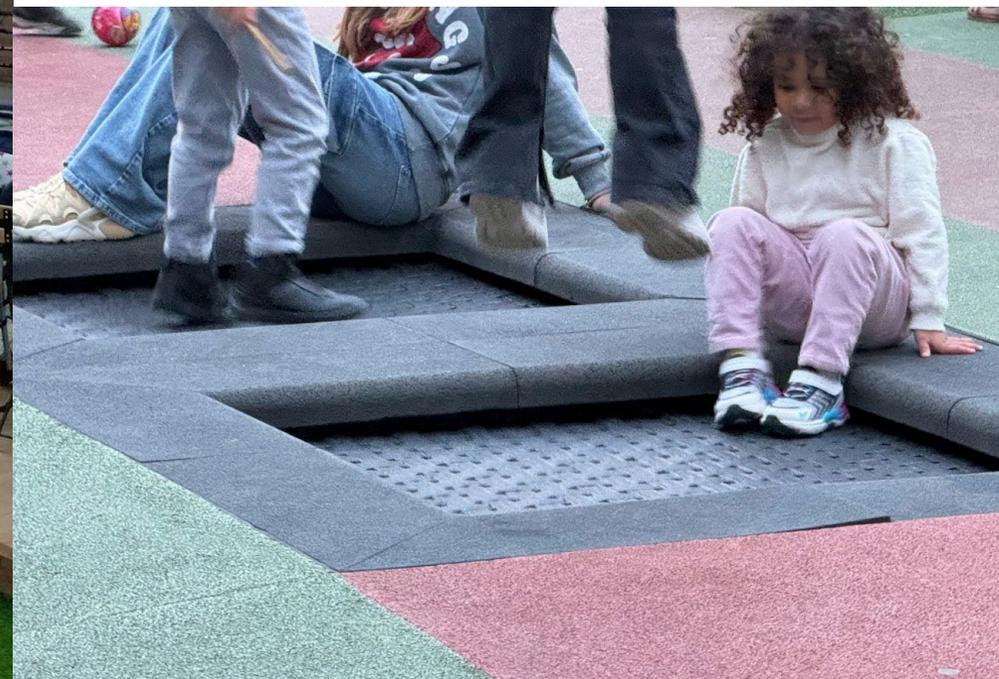


# 2023年社会実験



# 2023年社会実験





# 2023年社会実験



health

kids

relax

2023.9.23  
2023.10.22

ときわいこつと。

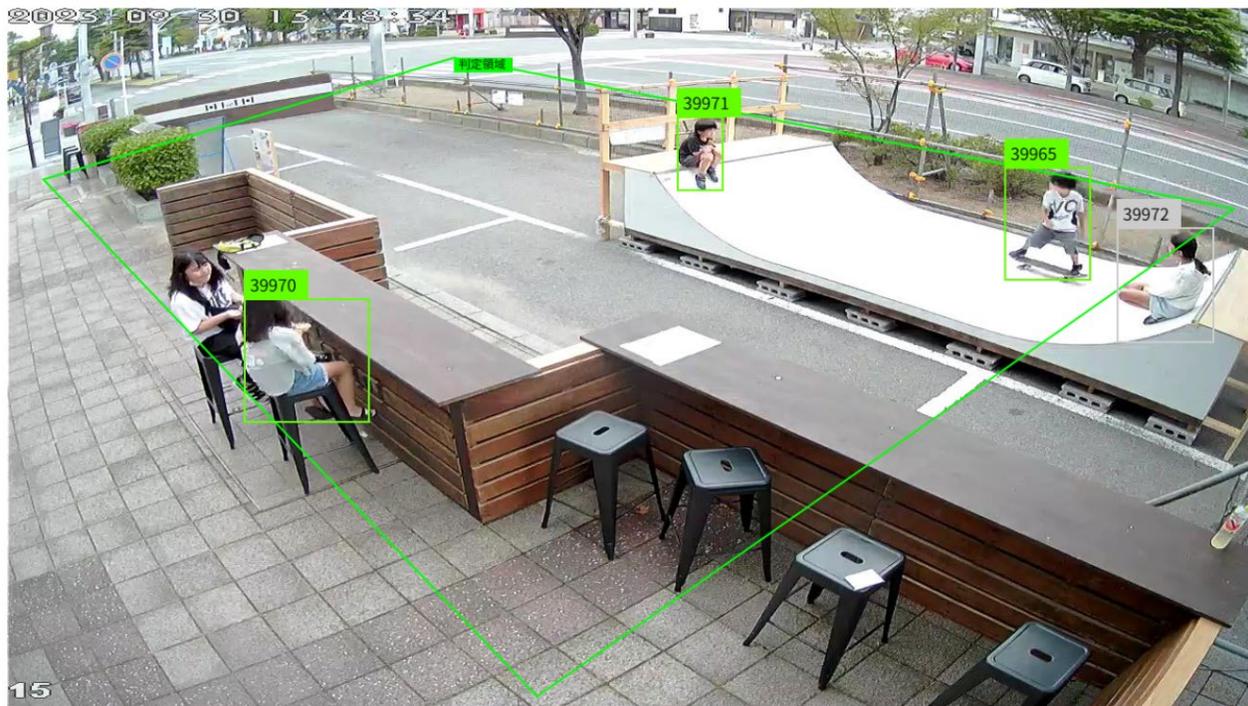
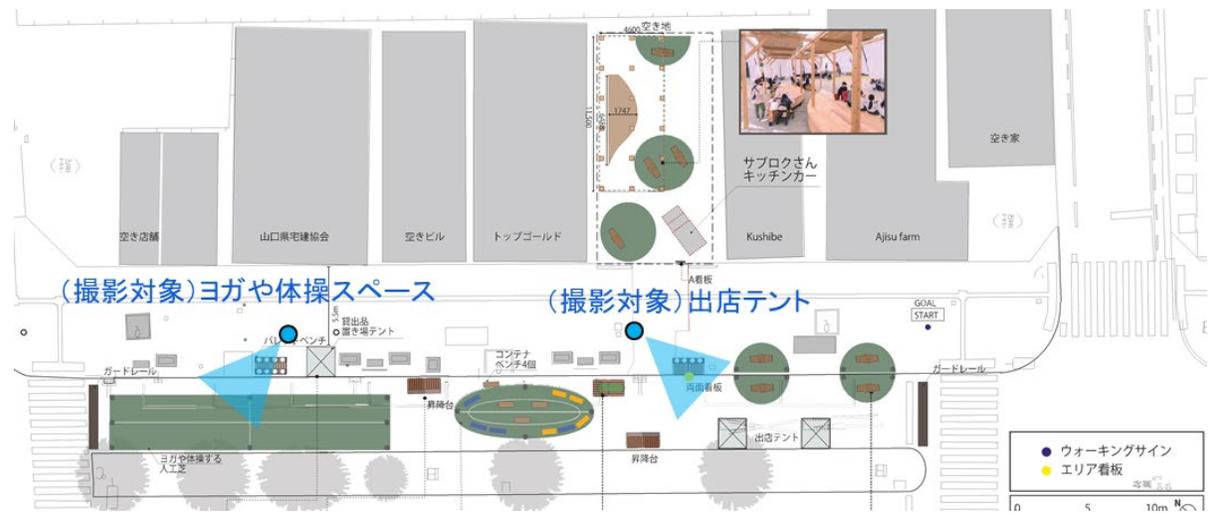
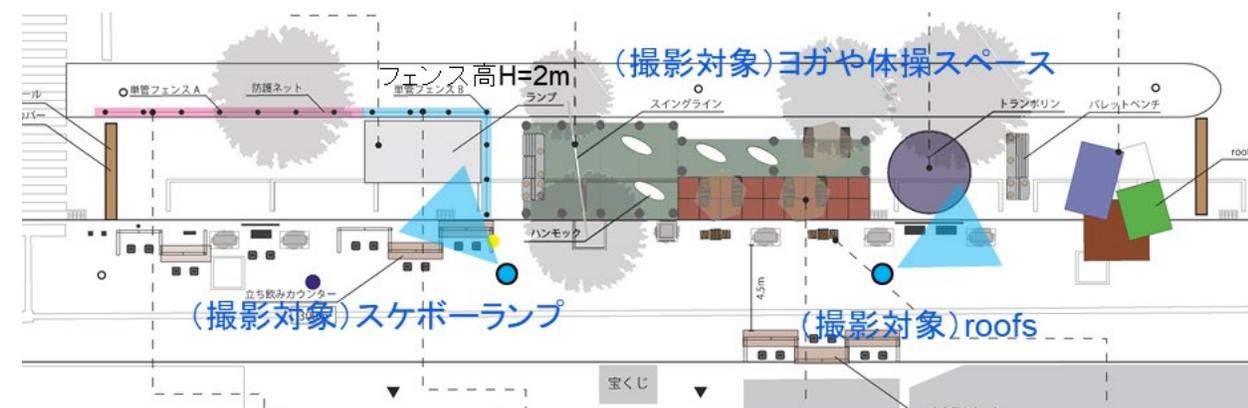
会場: 国道190号(常盤通り)

主催: 宇都宮市常盤通りウォークアップ推進協議会  
事務局: にぞわい字部(株)

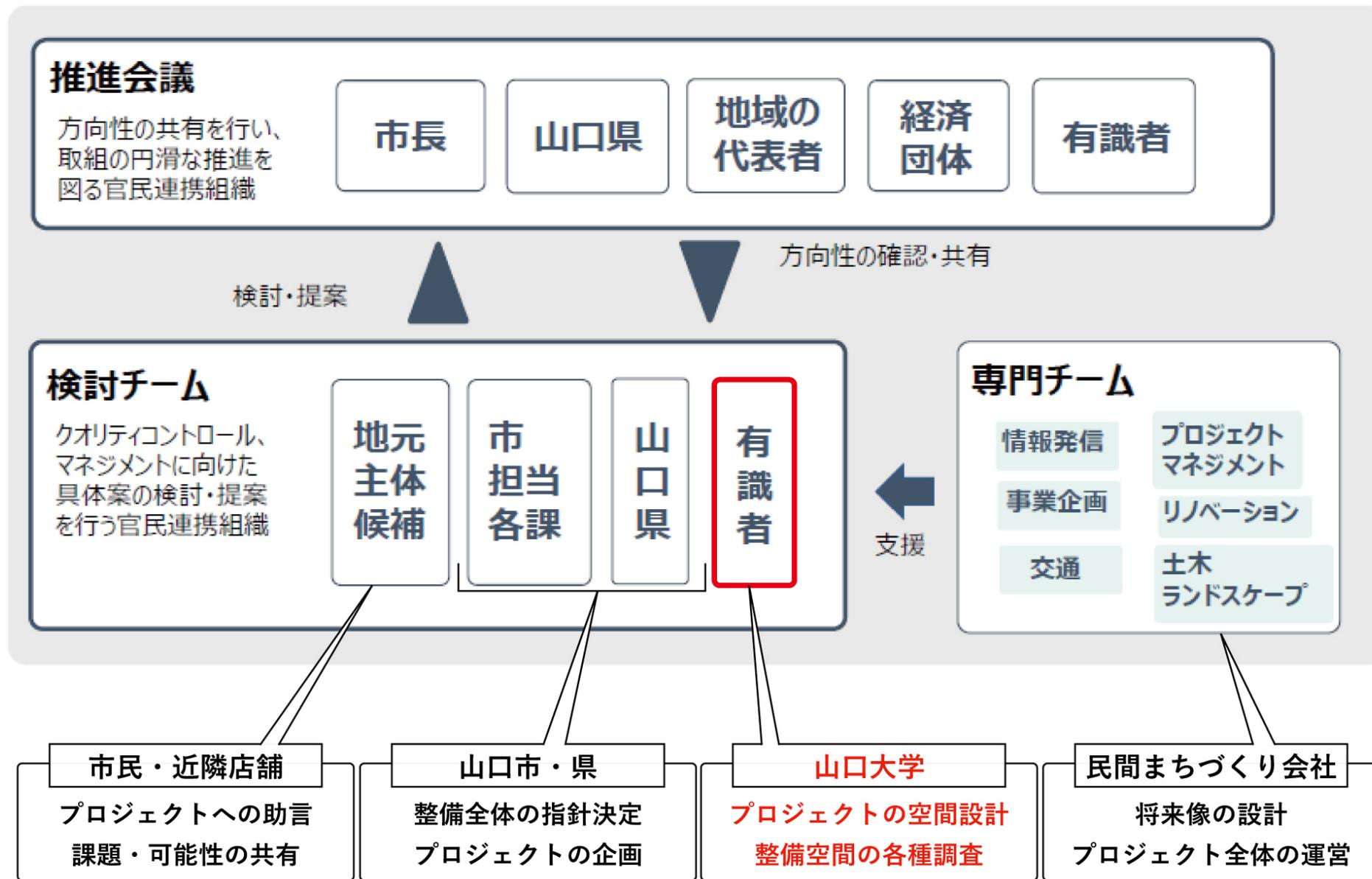
urban sports



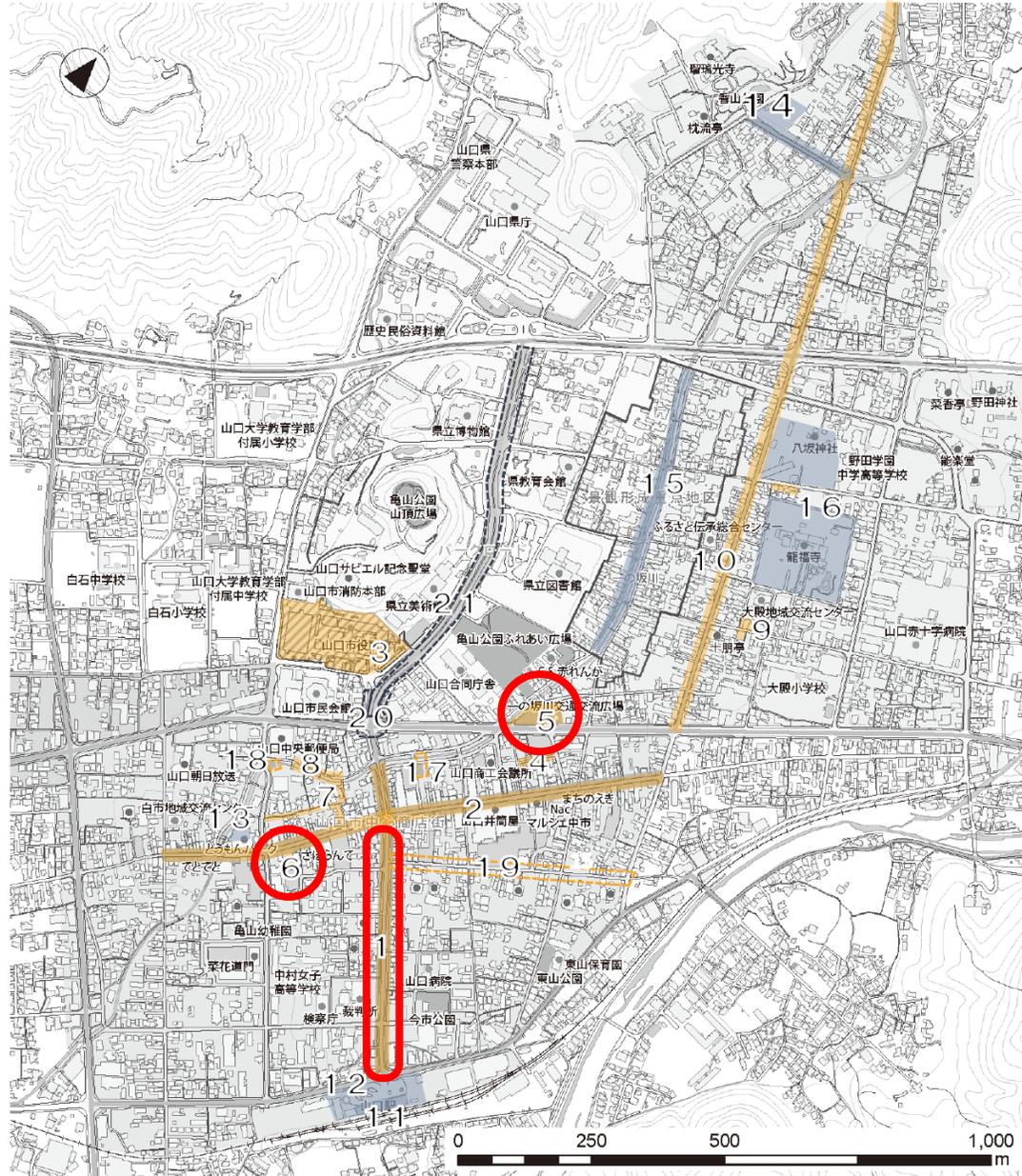
● AIカメラ



# 山口市駅通りまちなかウォークブル推進 体制図



## スモールエリア概要



### 重点エリア

1. 駅通り
2. 中心商店街
3. 市役所広場
4. 新天街（妖怪通り）
5. 交通交流広場
6. どうもん広場
7. さぼらんて跡
8. 一の坂川沿い
9. リノベーションエリア（大内文化ゾーン）
10. 萩往還沿い

### 準重点エリア

11. 山口駅舎
12. 山口駅周辺
13. どうもんパーク（coop 2階）
14. 瑠璃光寺周辺
15. 一の坂川（大内文化ゾーン）
16. 八坂神社/龍福寺周辺

### 検討エリア

17. ほたる広場
18. スペースパンプローナ（時計広場）
19. 天神通り

### 行政施策エリア

20. 早間田交差点
21. パークロード

## 社会実験時のエリアコンセプト

「川を近くに感じるイベント広場」



「沿道店舗空間の延長と導入、居心地の良い通り」



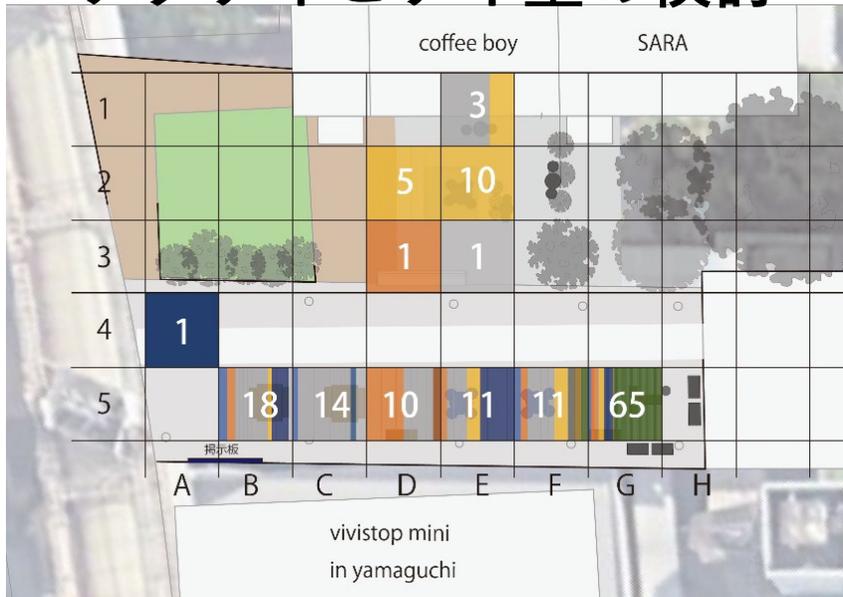
「親子連れのための、ついでに寄れる休憩広場」



# どうもん広場

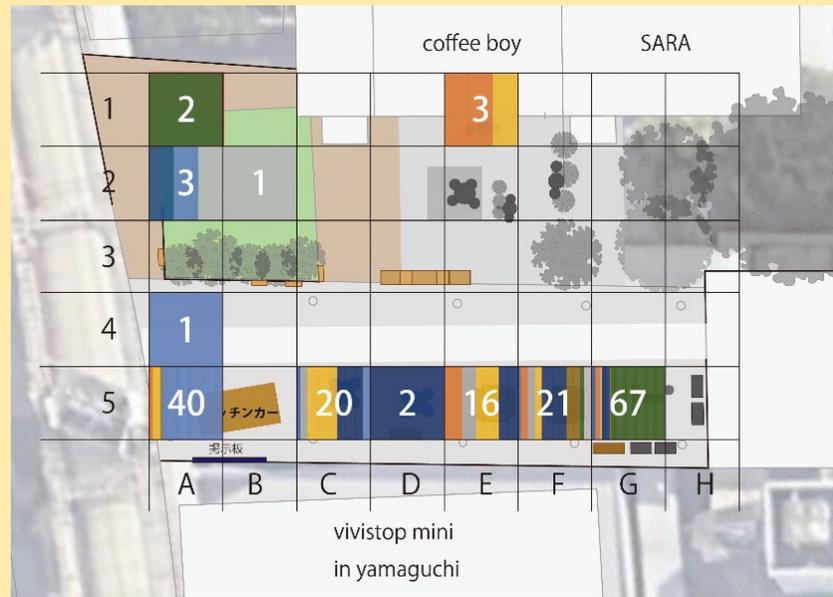


# アクティビティ量の検討

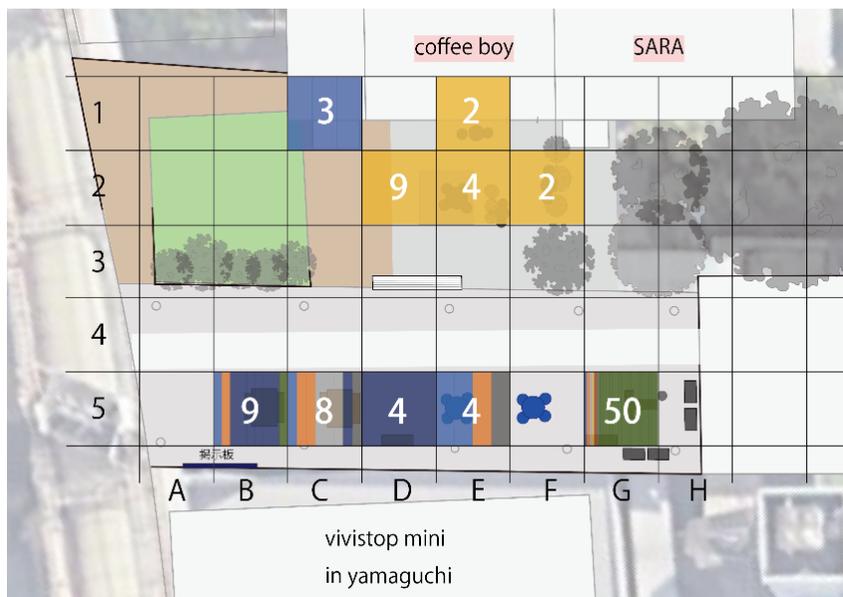


4月22日 (平常時休日)

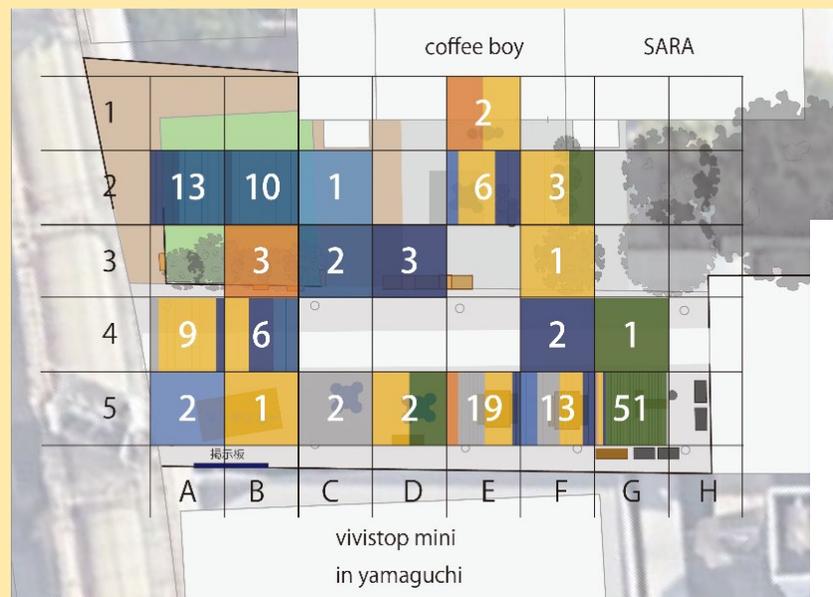
# 社会実験中



5月13日 (社会実験時休日) ※雨



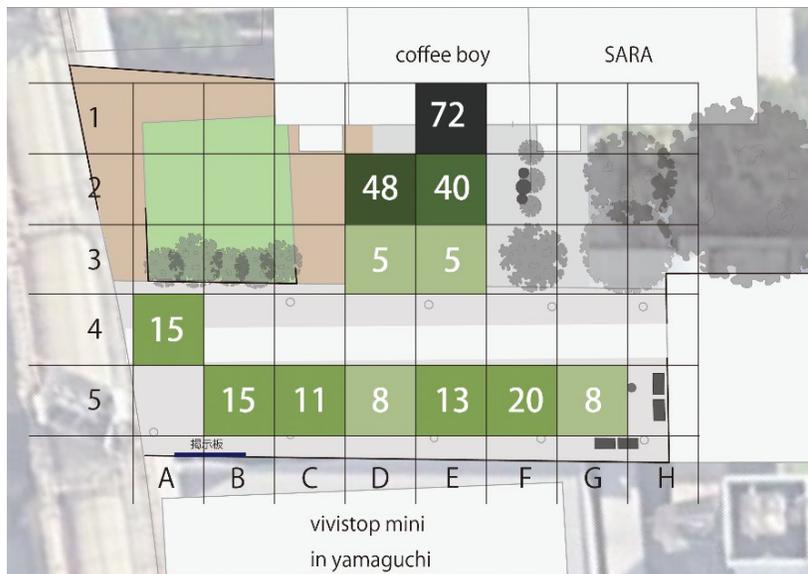
5月8日 (平常時平日)



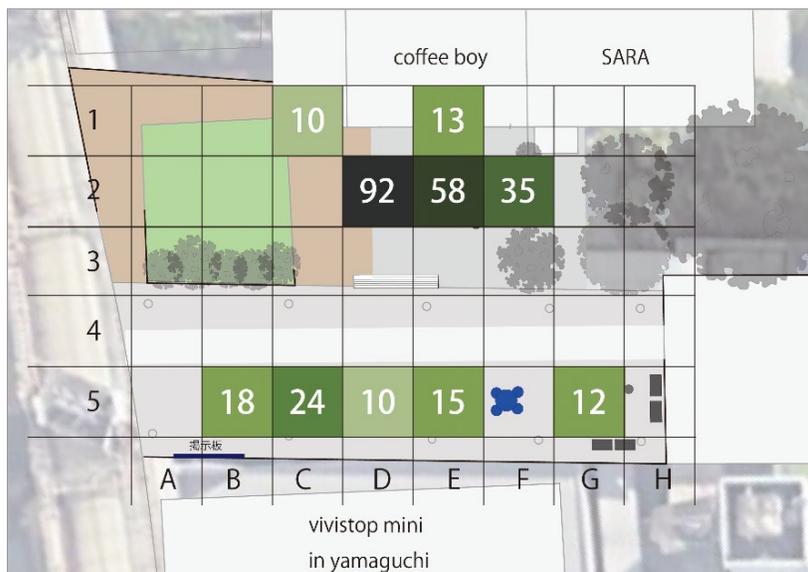
5月16日 (社会実験時平日)

- ①何もしていない
  - ②スマホ操作
  - ③飲食(持参)
  - ⑥居眠り
  - ⑦会話
  - ⑧写真撮影
  - ⑪子供の遊び
  - ⑫喫煙
  - N ⑬キッチンカー待ち
  - ④飲食(敷地内)
  - ⑤読む
  - ⑨電話
  - ⑩待っている
  - ⑭仕事
  - ⑮その他
- ↑ 総人数

# 滞留性の検討

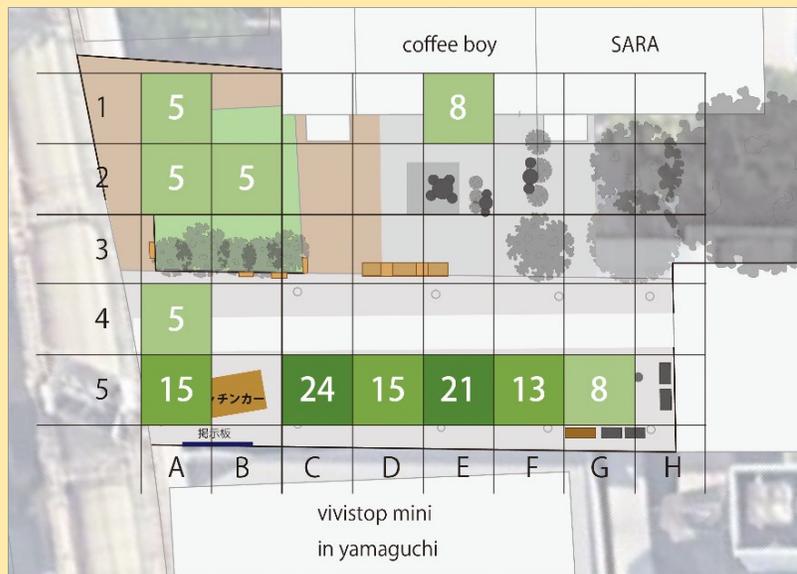


4月22日 (平常時**休日**)

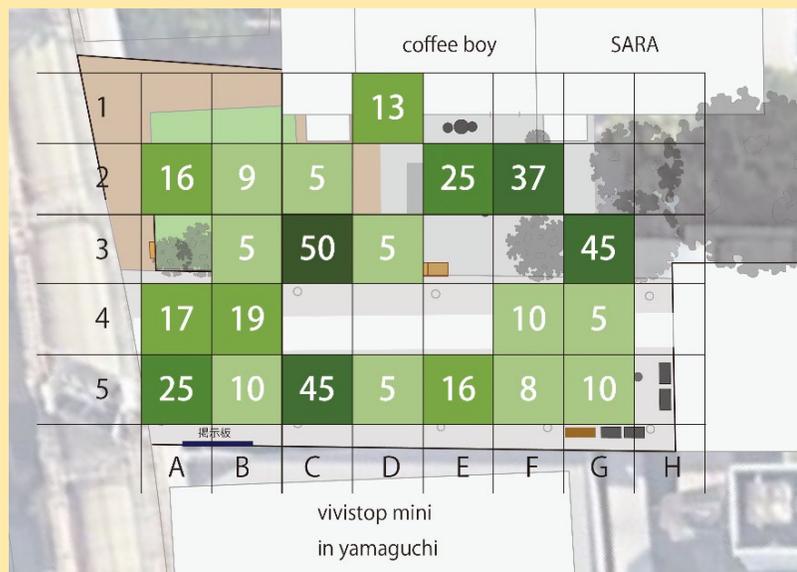


5月8日 (平常時**平日**)

# 社会実験中



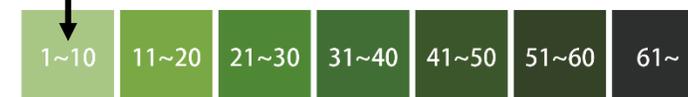
5月13日 (社会実験時**休日**) ※雨



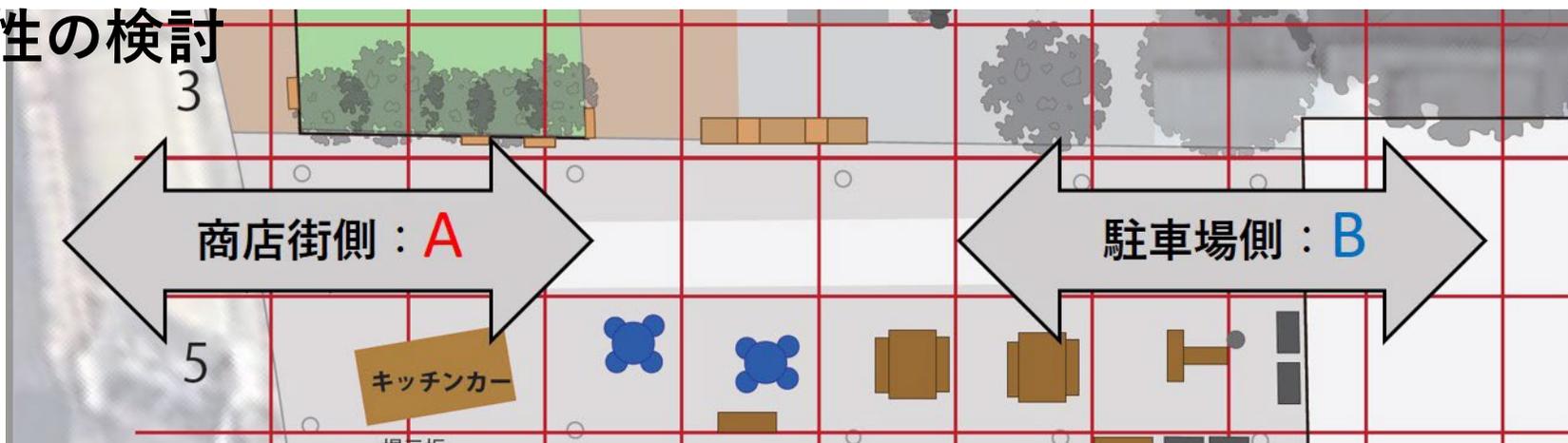
5月16日 (社会実験時**平日**)



滞在時間(分)



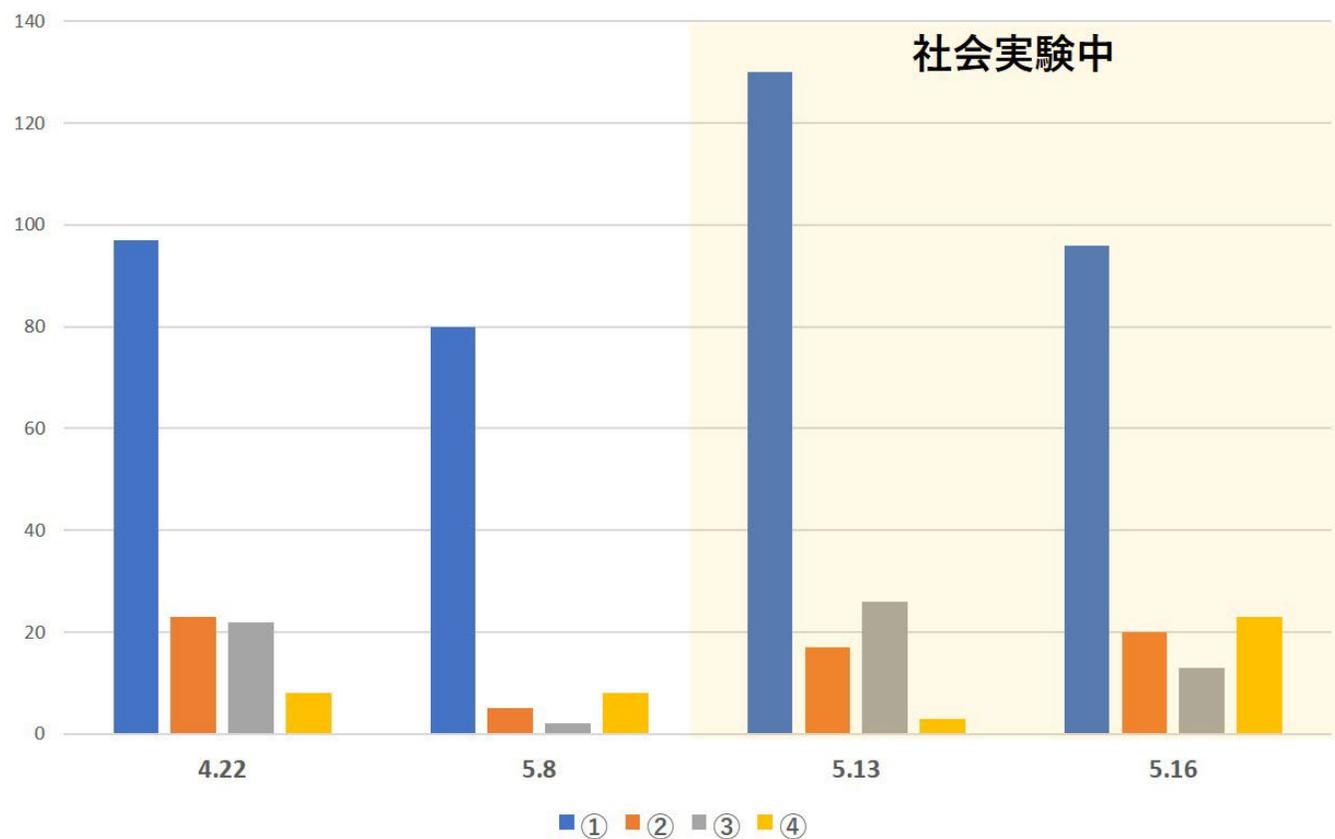
# 回遊性の検討



日にちごとの件数分布

## 出入りのタイプ分け

- ① A → A
- ② A → B
- ③ B → A
- ④ B → B



# 交通交流広場

交通広場 レイアウト

01 キッチンカー	07 テーブル・椅子
02 飲食出店テント	08 遊具
03 物販販売台	09 バラソル
04 物販出店テント	10 風を感じるオブジェ
05 欄干テーブル	11 単管バリケード
06 仮設デッキ	11' 点灯器
	12 シェアサイクルポート

<p>01 キッチンカー (写真はイメージ)</p>	<p>02 飲食 / 04 物販テント (2,000×2,000×h2,630)</p>
<p>03 物販販売台 (600×1,800×h900)</p>	<p>05 欄干テーブル (写真はイメージ)</p>
<p>06 仮設デッキ (3,662×9,490)</p>	<p>07 テーブル・椅子 (φ600×h700)</p>
<p>08 遊具 (スパイラルジム)</p>	<p>08 遊具 (滑り台など)</p>
<p>08 遊具 (バランス遊具)</p>	<p>09 バラソル (写真はイメージ: φ2700)</p>

01 キッチンカー

02 飲食出店テント

03 物販販売台

04 物販出店テント

05 欄干テーブル

06 仮設デッキ

07 テーブル・椅子

08 遊具 (スパイラルジムなど)

08 遊具 (滑り台など)

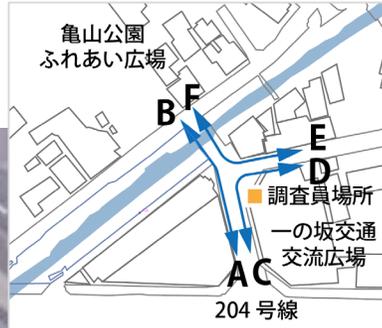
09 バラソル

10 風を感じるオブジェ

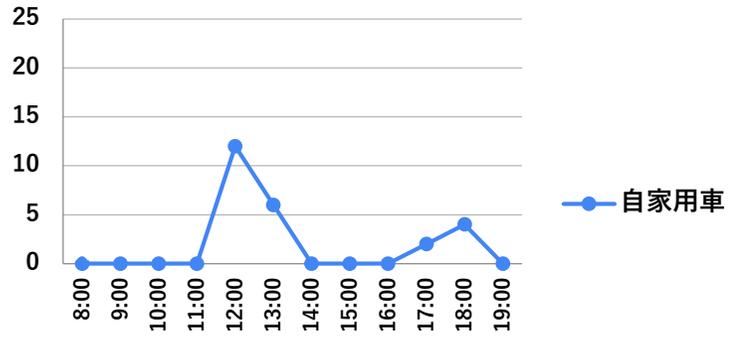
11 単管バリケード

11' 点灯器  
単管バリケードに約5m以内の間隔で点灯器の設置  
夜間点灯

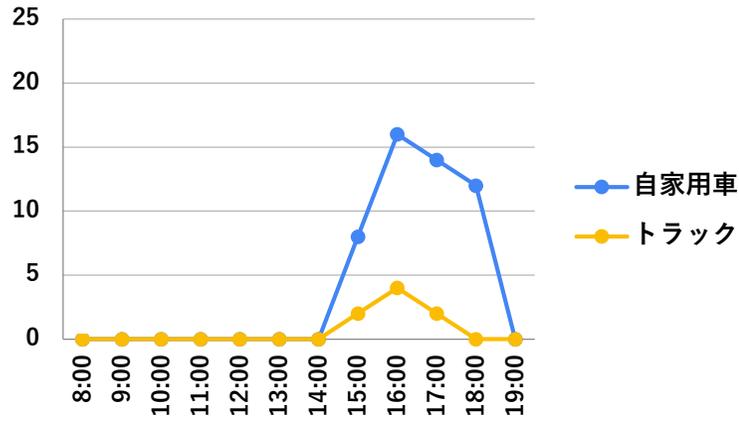
12 シェアサイクルポート



B→Aの自動車交通量の推移(休日)



F→Eの自動車交通量の推移(休日)

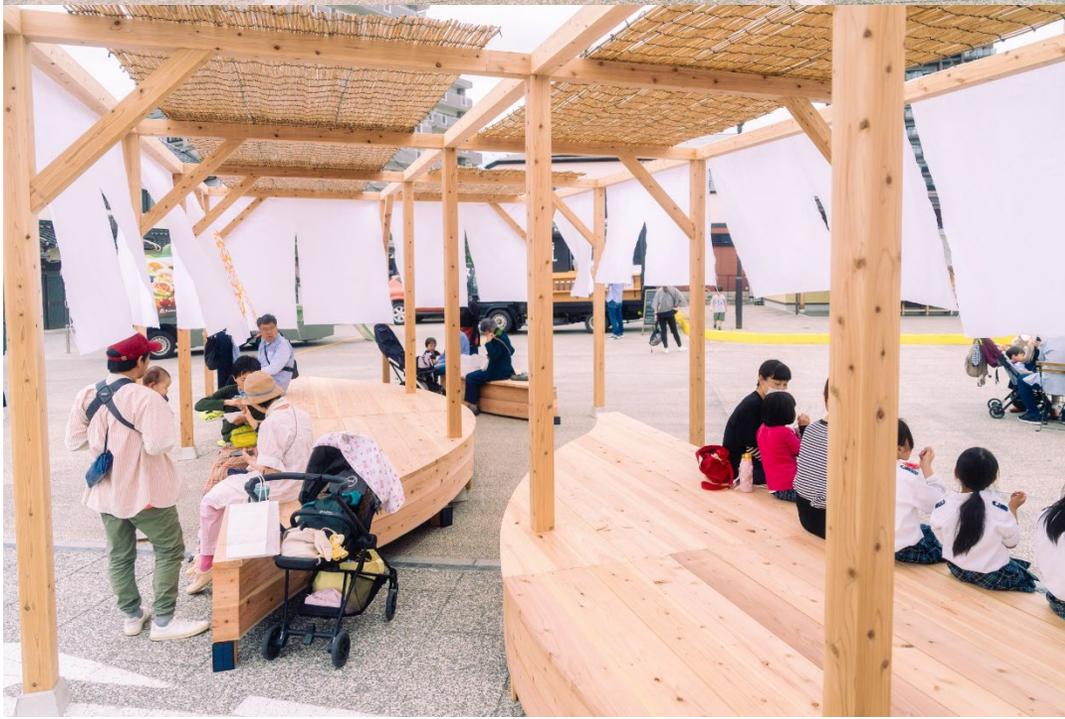


<p>10 風を感じるオブジェ (12,500×5,000×h5,000)</p>	<p>11 単管バリケード (650×約4,000×h800)</p>
<p>11' 点灯器 (写真はイメージ)</p>	<p>12 シェアサイクルポート (写真は現状図)</p>

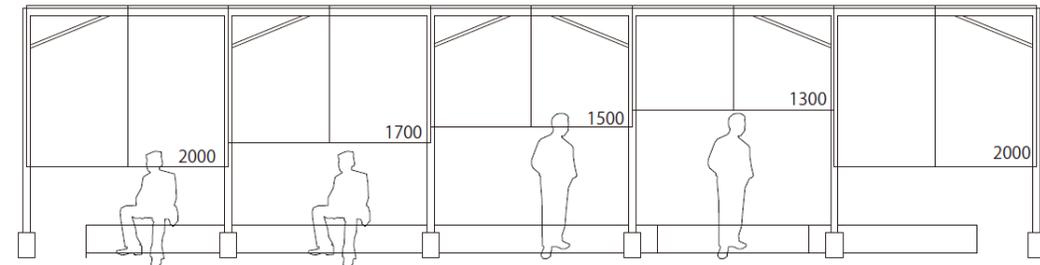
Mizube Terrace



kaze no suzumidai



布の高さ バリエーション  
滞留調査を行い、居心地の良いのれんの高さを見つける



座って目線が隠れる 座って前が見える 立って目線が隠れる 立って前が見える



## 【地方Step3】 エリアビジョンが生み出す連鎖反応

Step7

空間を形作ろう

Step10

優先順位をつけよう

# 竹原市



# 竹原駅前エリアウォークブルビジョンの策定経緯

目に見えるまちの変化がない！

## 問題意識 1

- 👉 **竹原市都市計画MP改定(平成28年11月)**  
将来を見据えた都市計画の決定や変更の方針
- 👉 **竹原市立地適正化計画(平成30年3月)**  
一定の区域に緩やかに都市機能・居住を誘導
- 👉 **竹原市景観計画(令和4年3月)**  
重点地区で、新たな建築物等に対する意匠・色彩などの規制

市民が少し頑張れば実現できる  
実効性のある小さなビジョンが必要

## 問題意識 3

- ▶ 竹原駅前エリアの魅力が低下
- ▶ 目に見えるまちの変化がない！
- ▶ まちづくりの主体的なプレイヤーが不在

まちづくりプレイヤー不在の計画策定

## 問題意識 2

### ▶ 一般的な計画策定の流れ

- ① 都市計画系コンサルタントに対して業務の委託
- ② 行政・コンサルタントで計画書の素案の策定
- ③ 計画策定の過程で、WSやパブリックコメントで住民意見の反映
- ④ 審議会や協議会など、学識経験者や商工会議所などまちを代表する人たちの意見を反映

### ■ ビジョン策定のポイント

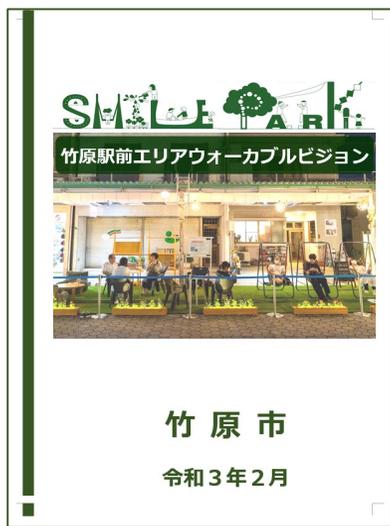
- 👉 現場で活躍するプレイヤー、活躍して欲しいプレイヤーと一緒に、ビジョン策定に取り組む。  
➔ 実効性のあるビジョン、責任あるビジョン
- 👉 壮大な夢物語ではなく、市民・事業者・行政が努力すれば実現できるようなビジョンとする。  
➔ 地域・関係事業者の巻き込みを期待
- 👉 社会実験を通じて、竹原駅前エリアの将来像を共有する。  
➔ 社会実験での取組みを通じて、地域の人たちが、またこの風景を見たいと思う

# ステップ1 地域住民との勉強会からスタート



# ステップ2 社会実験をやってみて、その結果をビジョンづくりに反映

パーキングデーのWS(2020.8.22)



## 竹原駅前Smile Parkはじめました！

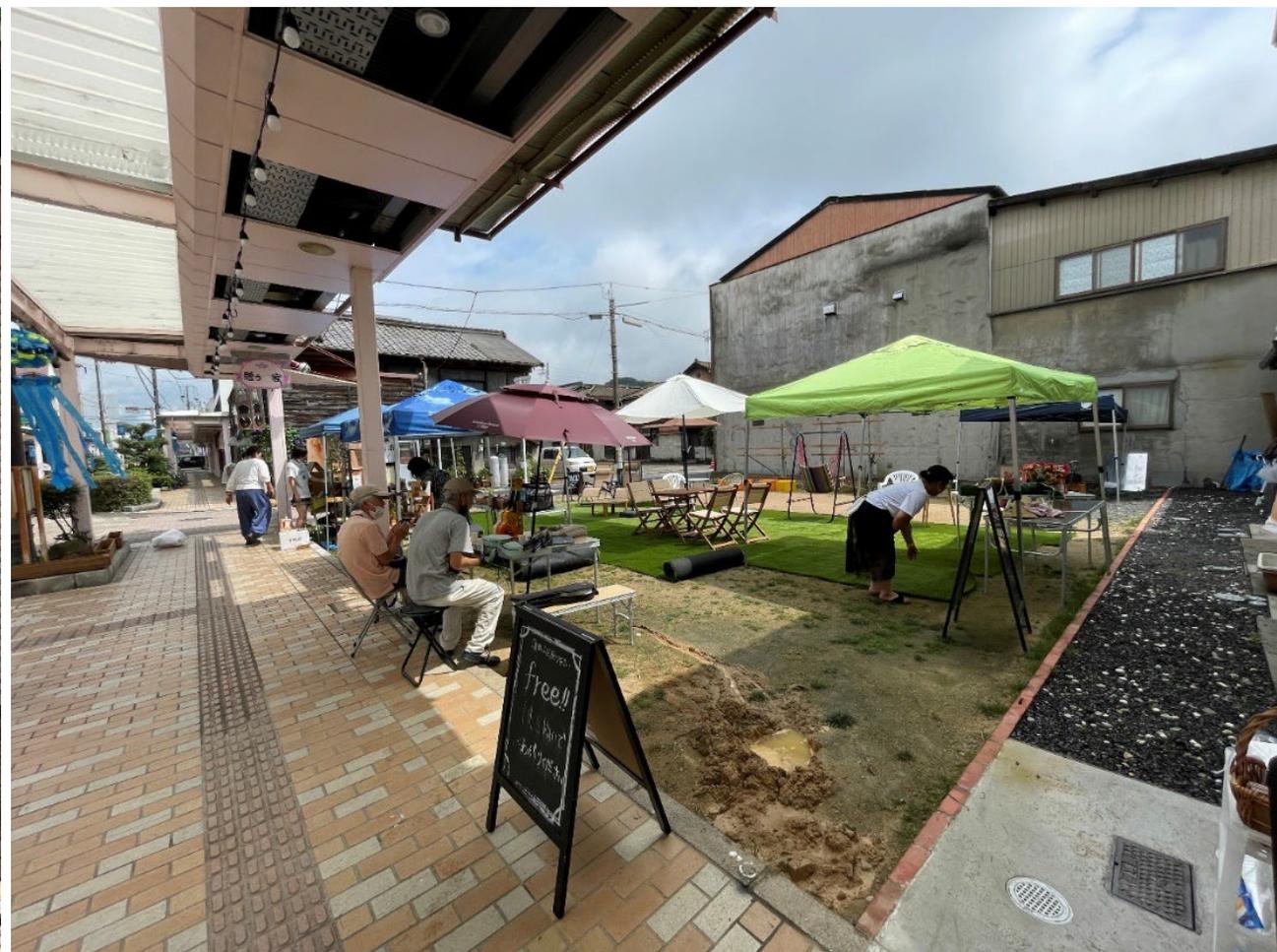


## <連鎖反応1>

Park(ing)Dayの取組を**日常化**

Small Park(ing)Dayを 1回/月程度開催

戦略 2. 滞在したくなる空間の演出

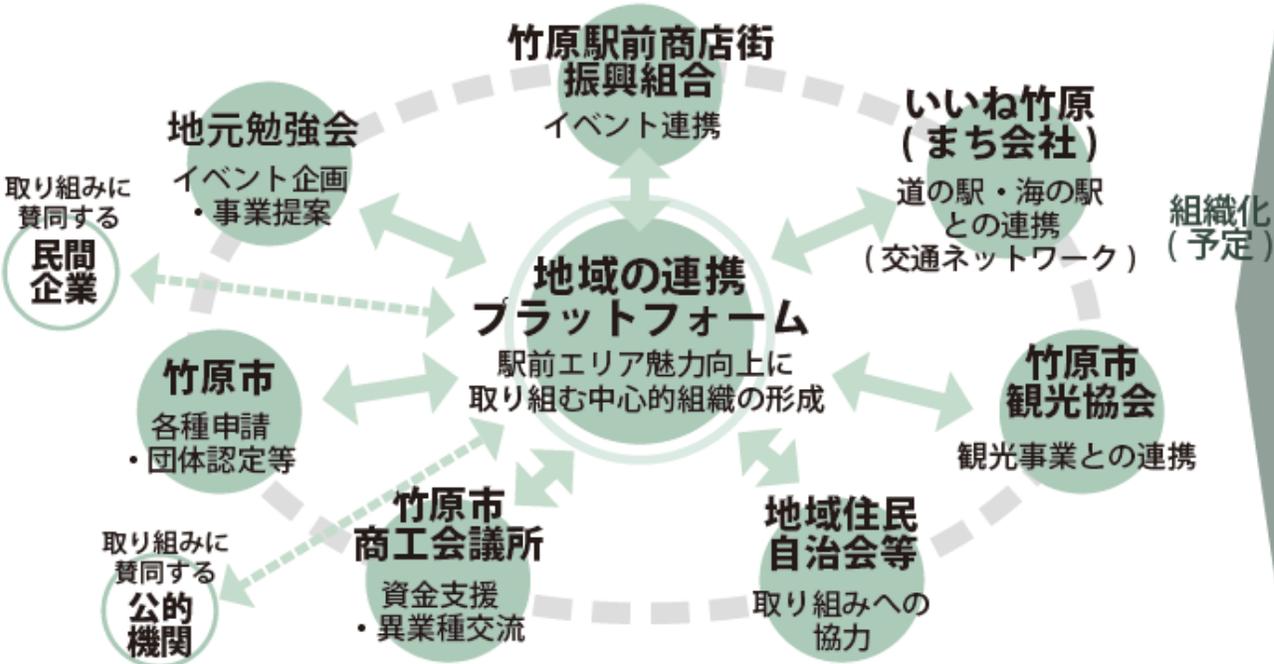


## <連鎖反応2>

# 地域の動き

地域の勉強会や商店街独自の環境整備活動（花植えなど・公園の芝生整備・社会実験など）を実施しながら、竹原駅前エリアが市民や来訪者にとって居心地が良く、歩きたくなる空間を創出するための取り組みを行っている。

## 戦略10. 持続的なまちづくり活動



## <連鎖反応3>

# Park(ing)DayからSMILE PARKたけはらへ発展

- 戦略 1. 歩きたくなる魅力的な景観
- 戦略 2. 滞在したくなる空間の演出



駐車場・道路が“公園”に!!  
遊具、スポーツ、アート、屋台...  
他にも盛りだくさん

2021年開催の様子

入場無料

## Park(ing) Day 竹原 2021

普段何気なく利用している車道を歩行者天国にしたり、竹原駅前あいふる通り沿いの空き地をリラックスできる空間にすることで、魅力的で歩きたくなる街を目指す社会実験を行います。今回は会場と周辺施設をつなぐグリーンスローモビリティ（電動自動車）の運行も決定!!

10.8日 11:00 - 20:00 10.9日 11:00 - 16:00

PLACE 竹原駅前あいふる通り

今年の企画コンセプト  
A: マチカドノスタルジー  
B: Smile Park はじめました  
C: あいふるリビング&スポーツ

お問い合わせ  
竹原市 建設部 都市整備課  
TEL: 0846-22-7749  
FAX: 0846-22-8579

【主催】竹原市  
【協力】竹原駅前商店街振興組合

新型コロナウイルス感染拡大防止対策  
会場では、必要に応じた人数制限や定期的な消毒の実施、来訪者の皆さまはマスクの着用や手指の消毒の徹底にご協力よろしくお願いいたします。  
雨天の場合  
雨天により中止する場合は、竹原市フェイスブック・ツイッターにてお知らせします。

6人乗りのグリスロが会場周辺で運行します!!

## SMILE PARK たけはら 2022

～ Park(ing)Day 竹原発展版 ～

10月 14日 16:00 - 20:00 (FRI)  
15日 11:00 - 20:00 (SAT)  
16日 11:00 - 15:00 (SUN)  
雨天の場合は順延

普段何気なく利用している車道を歩行者天国にしたり、竹原駅前あいふる通りや本川通り沿いの空き地を活用して来訪者が笑顔あふれる公園「SMILE PARK」のような空間にすることで、居心地が良く、歩きたくなるまちを目指す社会実験を行います。

主催: 竹原市  
協力: 竹原駅前商店街振興組合  
竹原駅前ウォークカブル勉強会  
竹原市立竹原中学校 3年生  
山口大学

竹原市職員駐車場 (平日限定)  
あいふる通り  
本川通り  
SMILE PARK たけはら 会場  
あいふる駐車場 (有料)  
竹原駅前  
竹原市役所  
道の駅 たけはら  
国道185号  
本川  
竹原市  
竹原駅前  
竹原市

「自由に おたのしみなさい」  
「今年はキッチンカーや遊具、スポーツ、アート、屋台... 雑貨販売、物販も充実！」  
「竹オブジェやバルーンランタンで夜の道が彩られます！」  
詳しい内容は裏面へ!

お問い合わせ  
竹原市 建設部 都市整備課  
TEL: 0846-22-7749  
FAX: 0846-22-8579



## SMILE PARK たけはら 2023

65th 竹原市誕生65周年記念  
70th 竹原市誕生70周年記念

アートエリア

本川アートひろば

本川の往來を眺めながらくつろぐリバーサイドcafe、竹原の町の映像上映やルネサンスハープ演奏などアートが集まります。

開催日  
20日 21日 22日  
16:00 11:00 11:00  
20:00 20:00 15:00

ココに行こう!

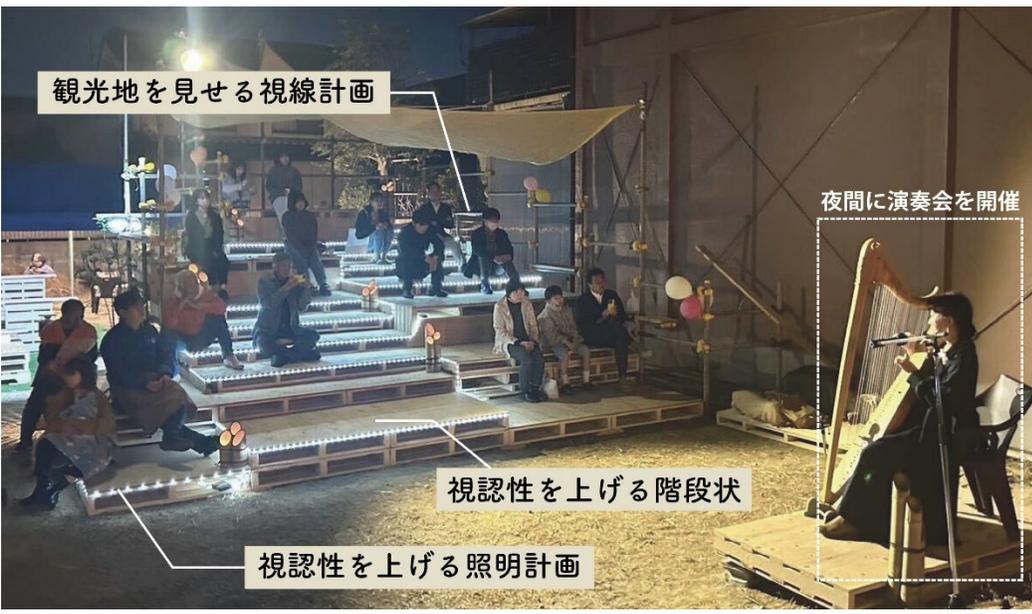
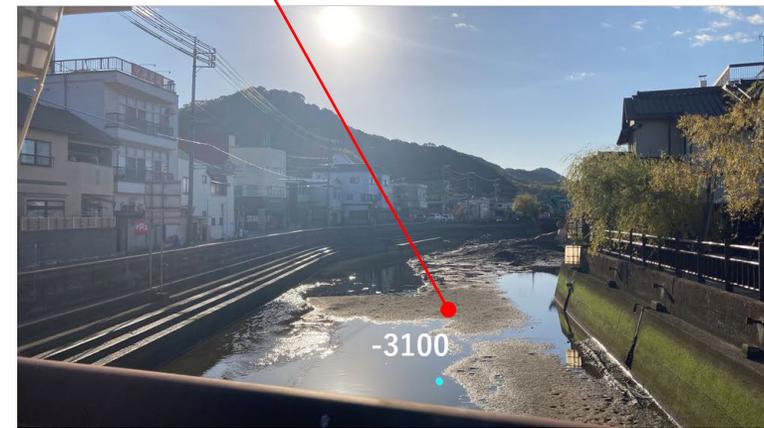
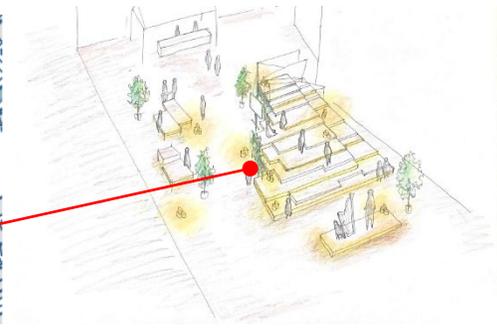
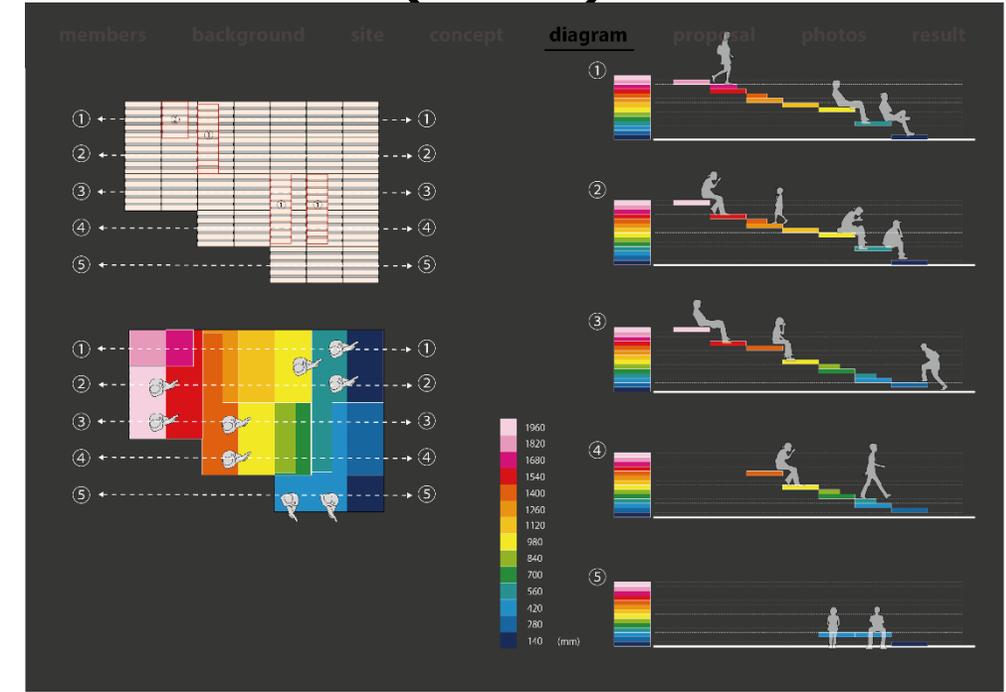
#スマパー  
で情報発信します!

川川設備となり

# 竹原中学校との連携



# だんだんテラス(山大生)



# <連鎖反応4> ストリートファニチャーの常設化

## 戦略 2. 滞在したくなる空間の演出

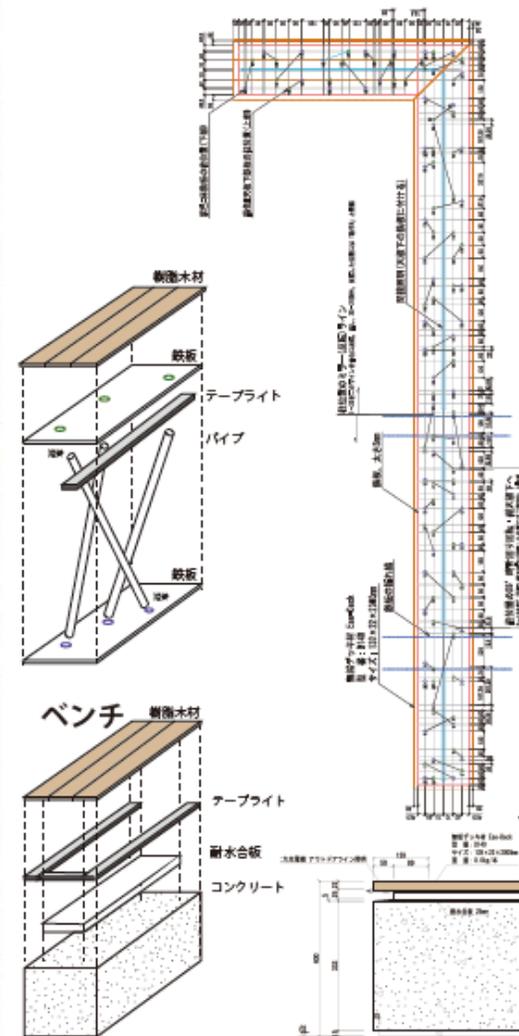
### 昼の風景

地域のイベントが終わった後や、商店街の有志が植栽の手入れ作業の休憩場所として使われている。時々ツーリングの合間と思われるライダー風の方が見られたり、中高生と思しき若者やそぞろ歩きの方が日陰を求めて休憩される姿が観察された。



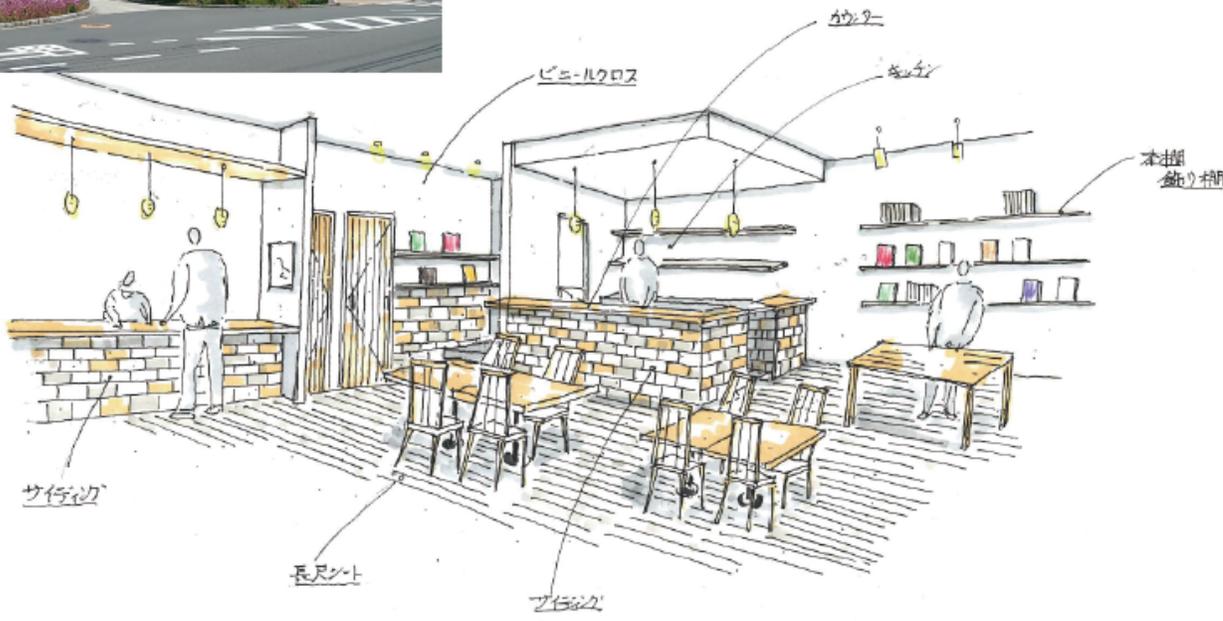
### 夜の風景

沿道店舗で飲食を済ませた後、一旦ファニチャーを利用して談笑する様子が多く観察された。また、商店街の住民で知り合いと思しき同士が会い、話し込む様子や、若者たちの語らいの場としても利用されている。車道を走る車との関係も程よい距離感・安心感が保たれている。



# <連鎖反応5> 空き店舗への出店(リノベーション)

## 竹原駅前の駅店舗のカフェーへのリニューアル



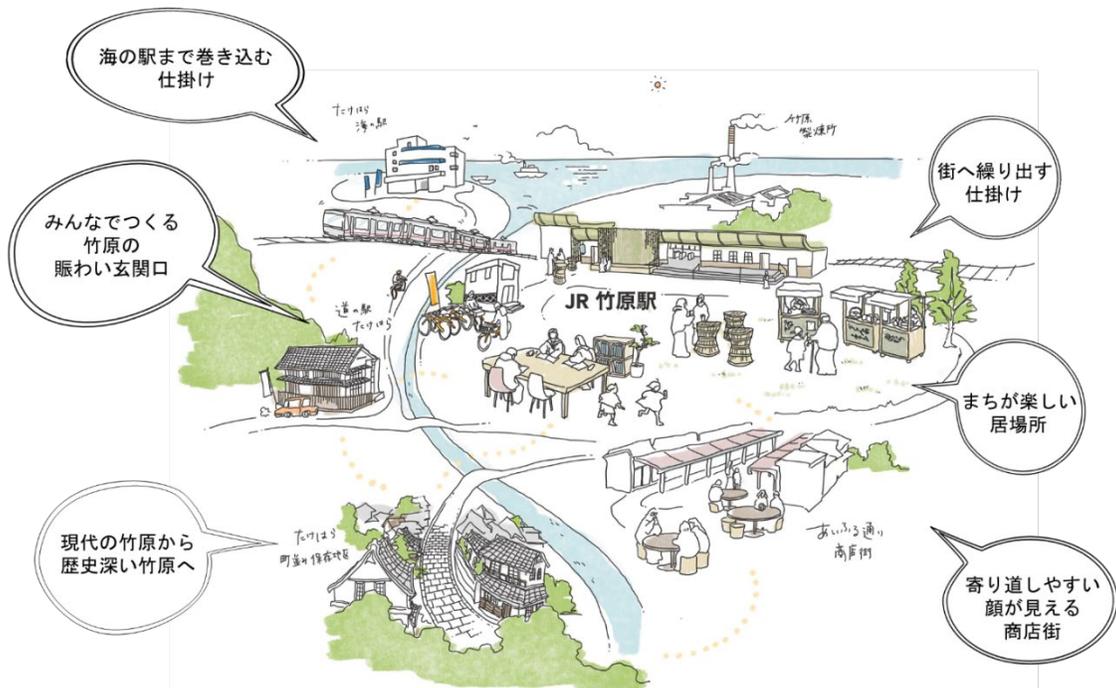
# <連鎖反応6> エリアビジョンに共感する様々な民間企業の参画

戦略 7. 訪れる人々が利用しやすい  
交通環境



2023年10月13日  
西日本旅客鉄道株式会社  
竹原市

## 竹原駅前エリアブランディングプロジェクト 竹原駅トイレ改修とレンガを活用したワークショップの開催



### 1 焼く前のレンガタイルに なまえを自由にスタンプ!

第1回目 9月23日(土)  
1グループ 09:30~10:30  
2グループ 11:00~12:00  
集合場所 松本燻瓦株式会社 竹原市吉名町517  
服装 作業のしやすい汚れても良い服装

イベント会場MAP  
JR竹原駅  
松本燻瓦株式会社

定員 30名 (先着順となります)  
1・2のイベント両方参加の方も  
どちらかのイベントのみ参加の方も  
お申し込みいただけます!

○雨天決行  
○お申し込み締切  
**9月18日(月)**

イベントへのお申し込みはこちらから!

昨年、竹原駅・駅前エリアブランディングプロジェクトの一環として実現した取り組みによって、竹原駅のトイレがキレイに使いやすく変わります。自分のなまえが入ったレンガタイルをみながら楽しく外壁に貼ってみませんか?

### 65th ANNIVERSARY 竹原市制65周年

## みんなで作る竹原駅の新しいレンガ

### 2 焼きあがったレンガタイルを トイレの壁に貼り付けよう!

第2回目 10月21日(土)  
1グループ 10:00~  
2グループ 13:00~  
集合場所 JR竹原駅トイレ前竹原市中央1-1-1  
服装 作業のしやすい汚れても良い服装



# 元気と笑顔が織り成す暮らし誇らし、竹原市。



**第3次 竹原市都市計画マスタープラン**  
瀬戸内に映える持続可能な都市づくり

- ・都市計画法第6条の2
- ・平成28年度～令和7年度

**竹原市立地適正化計画**  
瀬戸内に映える持続可能な都市づくり

- ・都市再生特別措置法第81条
- ・平成30年度～令和19年度

**竹原市中心市街地まちづくりビジョン**  
誰もが生き生きと輝くウェルネスなまちづくり

- ・任意計画
- ・令和6年度策定予定

任意計画 令和6年度策定予定

**竹原市複合施設整備基本計画**  
ウェルネスなまちづくりに資する複合施設

任意計画 令和3年度～令和12年度

**竹原駅前エリアウォーカブルビジョン**  
居心地が良く、歩きたくなるまちづくり

都市再生特別措置法第46条 令和7年度～令和11年度

**竹原市中心市街地地区都市再生整備計画（Ⅱ期）**  
市民ホール、図書館、子育て支援、竹原駅リノベ、ストリートファニチャー等を整備予定



# 【地方Issue1】 駐車場問題、どう対応すべきか。

Step3 駐車場を正しく確保しよう

# 常盤通りのウォーカブル化にむけて備えるべき条件

<宇部市>

## 居心地の良く快適な滞留空間の整備

常盤通りと公園的歩行空間の整備

滞留空間を活用し、市民の外出・来街の動機となる魅力的なアクティビティ・目的地をつくる

沿道の主要施設と連動した活動の企画・運営を行う

宇部市民に場所を知ってもらい、「T-Terrace」の愛着を高める

## 常盤通りに来やすい環境づくり

既存大規模駐車場(市営駐車場等)の利用を考慮し、常盤通りまでの快適なアクセスルート(歩行環境)をつくる

アクセスルートに合わせ、新しい目的地を増やす

常盤通りに隣接している銀行の駐車場や大規模月極駐車場と連携し、更に週末の駐車場の利用がしやすい環境をつくる

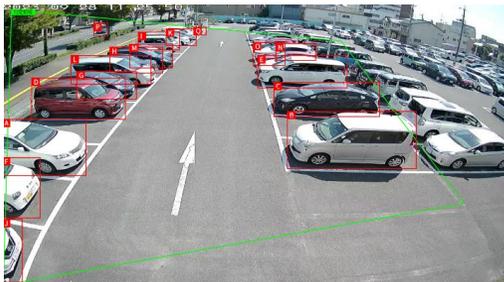
自然にまちなかに面白い店舗・目的地が増える

「T-Terrace」の利用者が増え、豊かな暮らしができるウォーカブルなまちへ





# AIカメラを利用した実証実験(ときわいこっと)



寿町第一有料駐車場  
 やや  
 混雑しています

ただいまの混雑状況  
**70%**

登壇者意向により非表示

山口銀行駐車場  
 空いています

ただいまの混雑状況  
**11台**  
**25台**

登壇者意向により非表示

西京銀行前駐車場  
 空いています

ただいまの混雑状況  
**11台**  
**24台**

## 【実験項目②】 AIカメラによる駐車場混雑度の情報発信

### ■ 駐車場利用者へQRコードを用いたアンケート調査

Q. 駐車場の混雑状況をウェブサイトで見ましたか。



見た 13件 / 69件 ≒ 19%

Q. 見た方は役に立ちましたか。(目標70%以上)



役に立った 12件 / 13件 ≒ 92%

### ■ 駐車場稼働率調査 (寿第一有料駐車場、山口銀行、西京銀行) (目標30%)

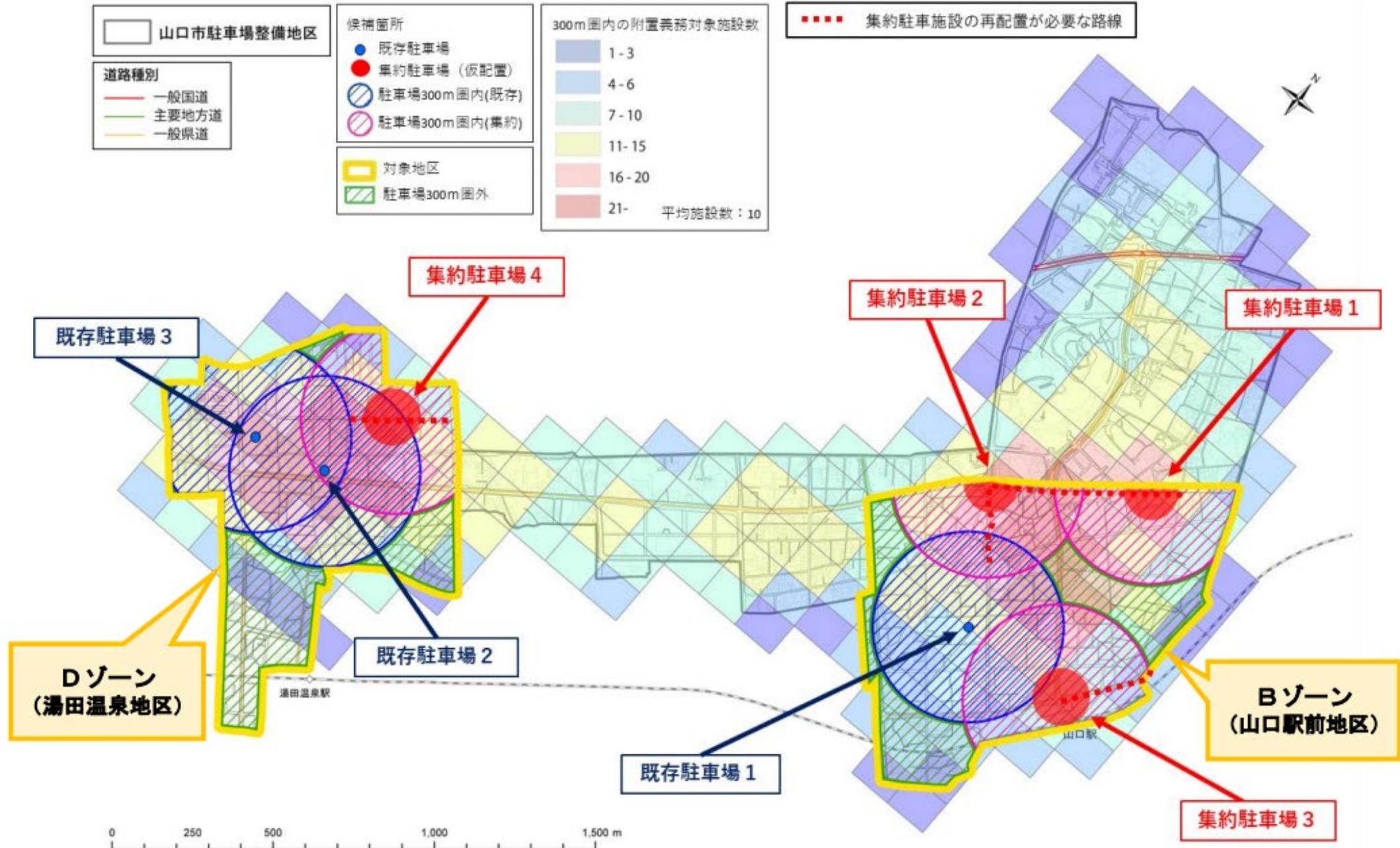
令和4年度 25% (平均稼働率)  
 令和5年度 32% (平均稼働率)

#### 【評価】

- ・ 駐車場混雑度の情報が役に立つことが確認できた。
- ・ 駐車場平均稼働率が令和4年度と比べ上がった。
- ・ ウェブサイトの閲覧者数が少なかった。

# 山口市駐車場整備計画(2023.10)

<山口市>



## 【地方Issue2】自転車道路はどう設置すべきか。

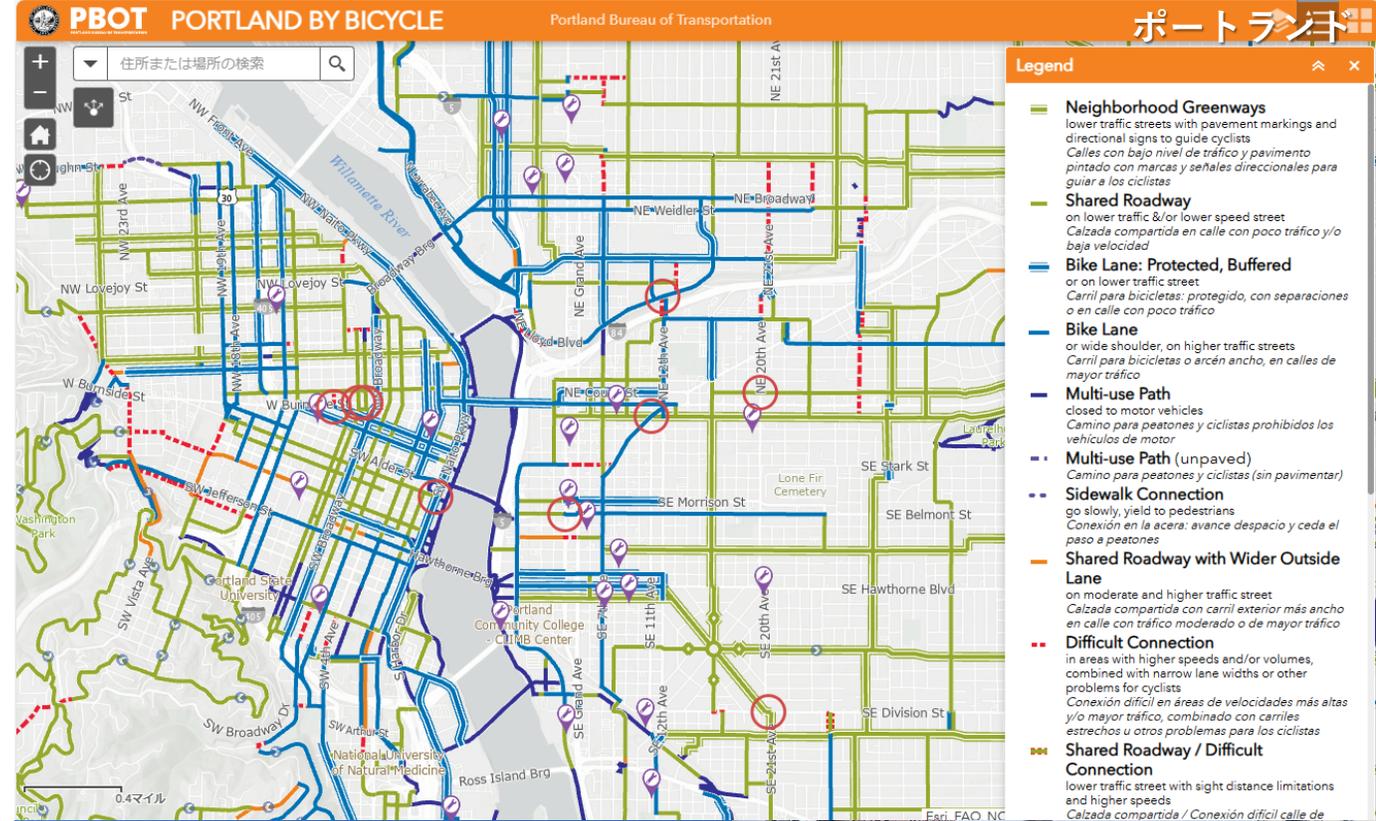
Step6 自転車を歓迎しよう

## 【宇部市】

- ・ 現状、自転車利用者が少ない。
- ・ 45m幅員の道路(車両速度40-60km)で公道に走る自転車の環境は良くない。
- ・ 現段階で自転車道路の本格的整備は難しい。
- ・ 車道に矢羽根の設置と共に、歩道の一部自転車道路設置(自歩道)
- ・ 社会実験では、歩道での自転車と歩行者のヒヤリハットのチェック



- ・ 全体歩行・自転車ネットワーク等を踏まえた長期的な交通計画が必要(ポートランド)
- ・ 将来的(自転車利用者が増えたら)には、1車線の新モビリティ化も考慮(コペンハーゲン)
- ・ 今回の整備では、高校生等のための駐輪場をしっかり整備



コペンハーゲン



ハンブルク

# 【地方Issue3】公共交通等の新モビリティ、可能なのか。

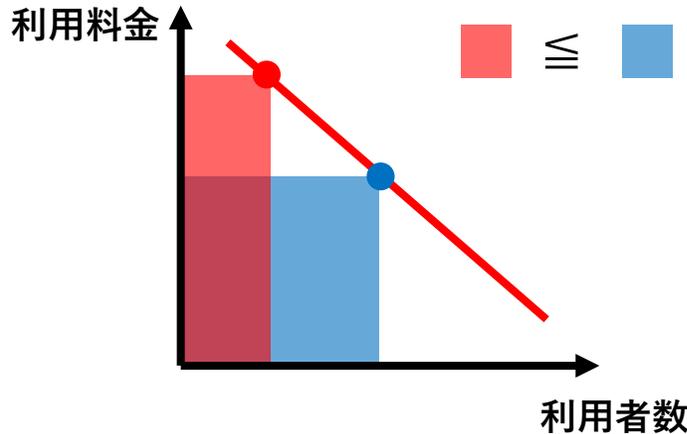
Step4 公共交通を機能させよう

## 【宇部市・竹原市】

- ・ 社会実験に合わせてグリーンスローモビリティ運行
- ・ 普段の利用者は少ない
- ・ イベント時にはアトラクショナルな利用者増
- ・ 基本的に左折のみのルート設定
- ・ 既存の車道との共存は難しい
- ・ キックボードなどは魅力的だが、財源面で厳しい(台数の借り代、システム代など)



- ・ 既存の公共交通との連携  
→ 中心市街地へのバスの低額設定  
地域通話化(ポイント制)・実験による経験誘発
- ・ 歩行と公共交通の間の速度の乗り物をどう補っていくのか。



# 【地方Issue4】 植栽(景観vs管理)はどうあるべきか。

Step8 樹木を植えよう

## 【宇部市・山口市】

- ・管理をだれがどうするのか。
- ・葉っぱの大きい問題(雨どい詰まりなど、災害問題)
- ・匂いの問題
- ・景観上大事なものであり、守るべき存在
- ・みどり空間の重要性(滞在空間として)



fig. 1  
アクロス福岡外観。ステップガーデンは天神公園に面しており、  
連担した緑地となっている。周辺では再開発（天神ビックバン）  
が進む（写真：川辺明伸）



fig.3  
対談風景、田瀬理夫さん（左）、宮崎彩美さん（右）。会議  
室の窓の外には森のようなステップガーデンが広がっていた  
（写真：川辺明伸）

**田瀬** 管理の仕方の前提が違っているんです。普通は植えた木を「管理して」って頼むわけですが、そうじゃなくて「山に育てて」という管理なんです。その育て方は施工者にある意味任されている。公共事業、特にこういうビルのメンテナンスの緑の管理は、孫請けのまたその孫請けみたいなかたちになっていて、とんでもなくいい加減になっていることが多いんです。発注の仕方も、たとえば肥料を何回撒いたらいくら、刈込み何回したらいくら、というような感じで、健全に保つということに対する発注になっていない。「育てる」ことを依頼すると、やることも、やる時間も、やる時期もみんな任されているわけですよ。一年間の予算だけあって、それで任されてやる。それはやっぱりプロの仕事だと思います。そういう発注の形式も含めて、最初からスタートしたので、いい状態になっているんだと思います。だからここでは、落ち葉も枯れ枝もゴミとして出したことは一度もありません。



## 都市・建築で緑を育てること

### Growing Green in Architecture and Cities

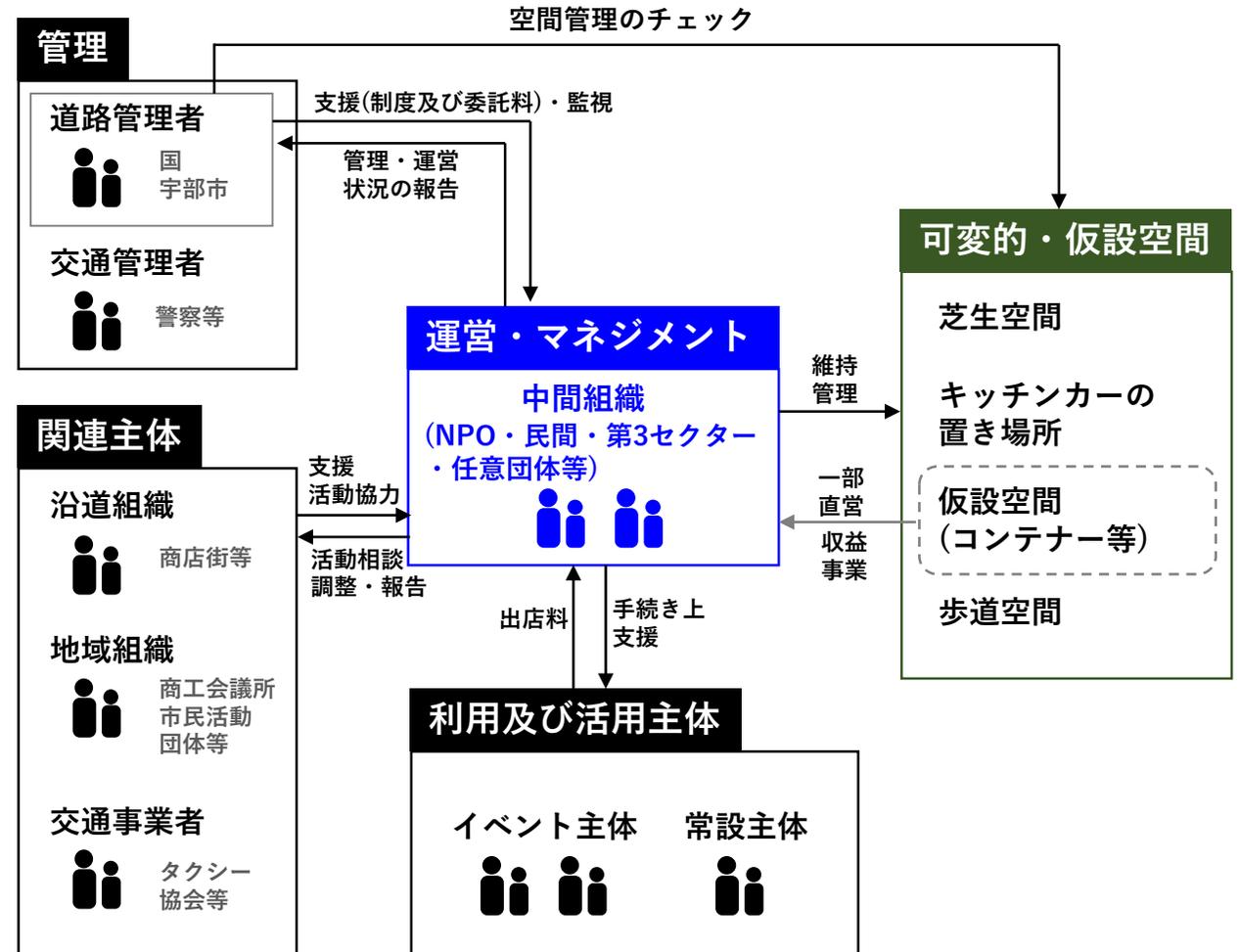
アクロス福岡が竣工したのは1995年。  
建物緑化や温暖化対策の先進事例として事あるごとに  
注目を集めてきたこの建物も竣工から28年を過ぎ、  
「屋上緑化」は「都心の山」へと成長している。  
その「山」を育て続けてきた  
ランドスケープ・デザイナー田瀬理夫さん、  
メンテナンスに携わる宮崎彩美さんに話を聞いた。

田瀬理夫 宮崎彩美／お話  
山崎嵩拓 林咲良 宋俊煥 岩佐明彦／聞き手  
市川幹朗／文

**【地方Issue4】 中間支援組織等エリマネで動かせるか。**

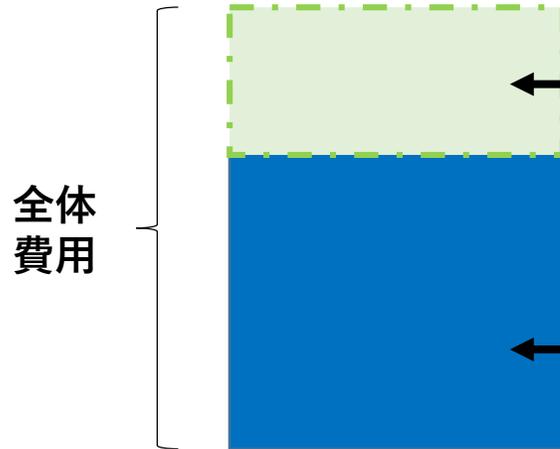
# マネジメント手法 ー出来上がった空間を維持管理及び利活用する仕組みー

- 整備により出来上がった可変的・仮設空間を活性化させていくためには、**空間を柔軟に使いこなしかつ、空間を高質に維持させるマネジメント手法**が求められる。
- そのためには、全ての道路空間を道路管理者が、管理するのではなく、可変的・仮設空間の管理については、**中間組織(第3セクター・民間)に委ねる**ことで、**行政による管理負担を軽減する**とともに、多様な主体による利活用を促進させる、いわば**民間活力(小さなビジネスの創出・雇用創出等)**を引き上げることが重要である。
- 近年、ホコミチ制度(歩行者利便増進道路制度)を積極的に活用する必要がある。



# 増加する管理費用を賄う(稼ぐ)方法

- ・ 整備前：植栽管理
- ・ 整備後：植栽管理+清掃+巡視・点検(整備空間・遊具等)



①民間(中間組織)の負担

公共空間及び施設を活用した年間管理費用の捻出

①市の負担

固定資産税(土地、建物)と都市計画税(土地、建物)について、建物建設前と後の比較による管理費用の捻出

③受益者負担(長期的)

今後、沿道への好影響を考え、2次的な受益者(沿道店舗等)にもどのように負担額を設定するかは考えていく。

